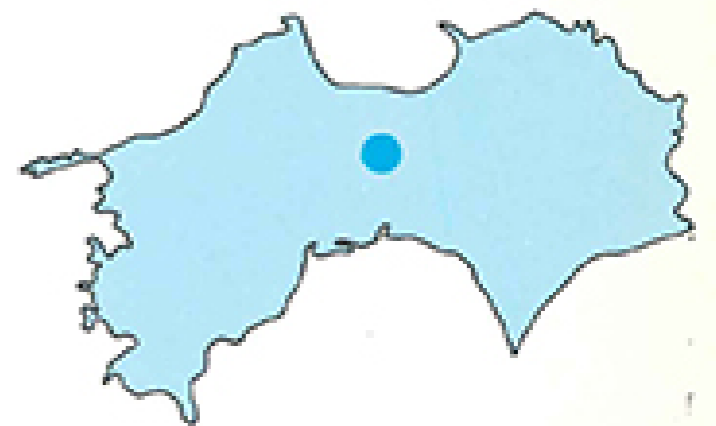


早明浦夕么

SAMEURA

1975

早明浦ダム写真集



ひとりきて ひとつ石をつんで
ふたりきて ふたつ石をつんで
そして10人になり 100人を超えた。
その人たちが競って石をつんだ。
つまれた石は職人によって整形された。
いつの間にか 白い巨大なしきりができた。
美しい自然の流れを
生活の流れへと変えた。
郷土の人々は 私たちを公団の人と呼んだ。
白い大きなしきりを早明浦ダムと呼んだ。
そして今、四国のいのちとして
3億トンの 水をたたえている。
(職員ノートより)



着手から

②

日本一の多目的ダム：

早明浦ダムは、12年の歳月と310億円余を費してこゝに完成した。四国地方総合開発計画のトップバッターとして、水資源開発公団が、四国三郎の名も高き轟れん坊を治める。

台風銀座の吉野川を洪水から救い、新たに開発された8億6千万トン余の水は、四国四県の農水・工水・都市用水として供給され、電力を生む。

しかし、この藩には、地域社会の発展と子孫の繁栄を願望してとはいえず、先祖伝来の愛憎尽きない故郷を離れていった352世帯もの人々の理解と辛勞と協力と、10名の尊い犠牲のあることを忘れてはなるまい。

そこには、豊富な資源の有効利用という理念のもとに、人と人とのドラマがあり、人と自然との斗いがあった。

今、いろんな角度からその歴史を振り返り明日への糧としたい。

そして語ろう！

そして祈ろう！

人々にその愛があるように

神々が永遠に、

それを見守るように！！



①

①早明浦ダム位置図

②完成航空写真







②

①②水浸地

③周水供給計画表

④仮設備平面図

突貫の仮設備

洪水調節：

このダムによって、ダム地点の計画高水流量4,700 m^3 のうち2,700 m^3 を調節し2,000 m^3 放流することによって、下流の洪水を低減させる。

流水維持：

吉野川の流水の正常な機能を維持するとともに、既得のかんがい用水、水道用水並びに工業用水の取水の安定を図る。

電源開発：

早明発電所において、最大出力42,000kWの発電を行なう。

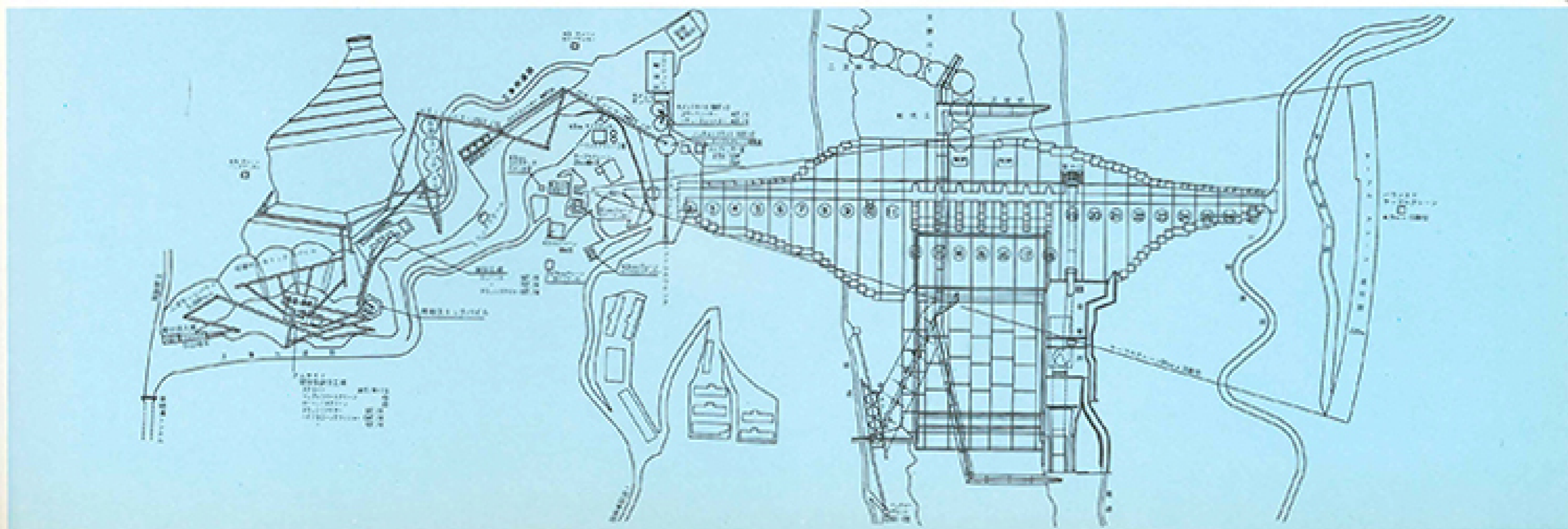
新規利水：

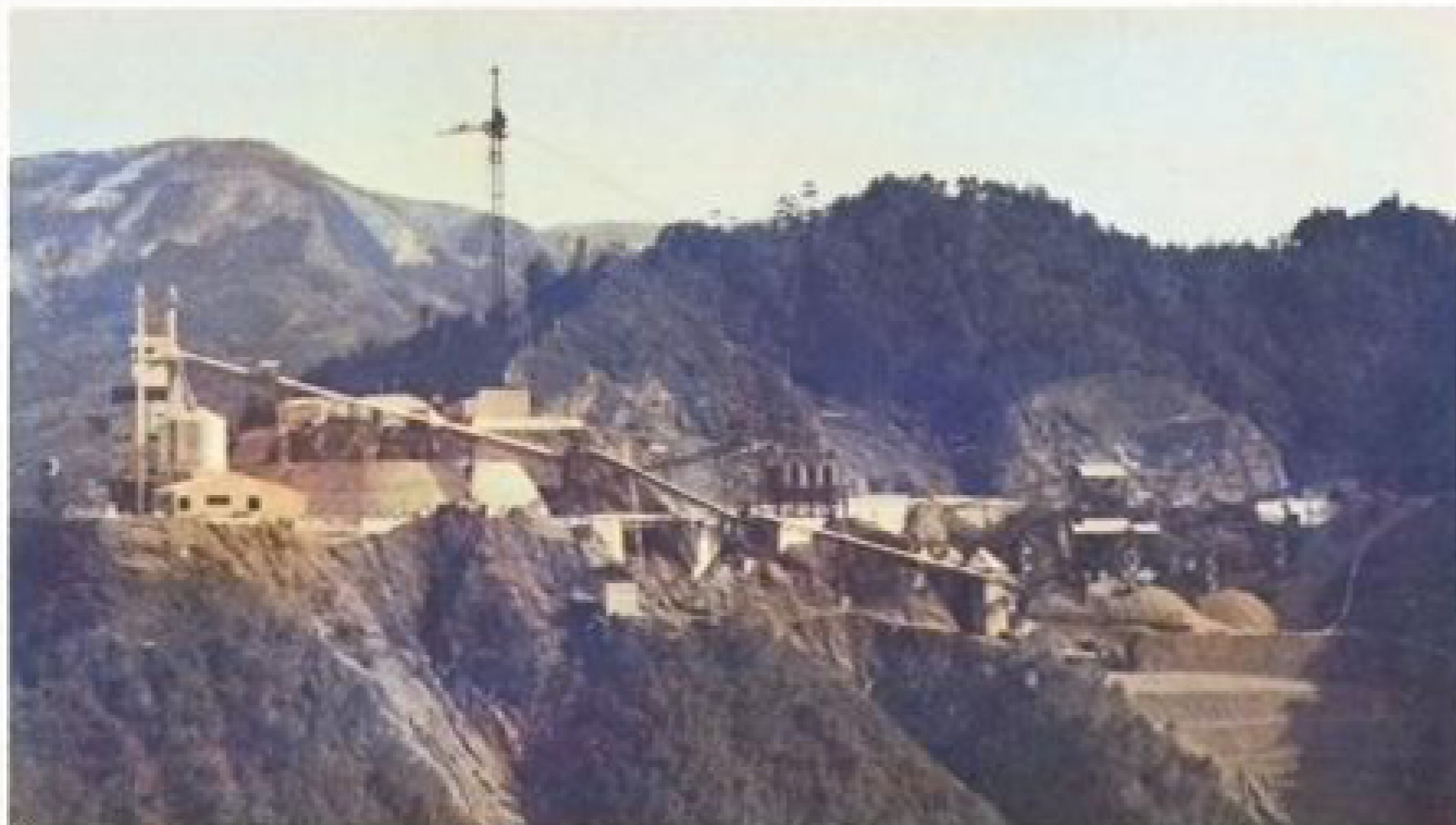
- (1) 徳島用水として、かんがい期13.72 m^3 、非かんがい期12.62 m^3 の取水を可能ならしめる。
- (2) 香川用水として、かんがい期12.50 m^3 、非かんがい期5.50 m^3 の取水を可能ならしめる。
- (3) 愛媛分水として、かんがい期5.554 m^3 、非かんがい期5.185 m^3 の取水を可能ならしめる。
- (4) 高知分水として、1.23 m^3 の取水を可能ならしめる。

③

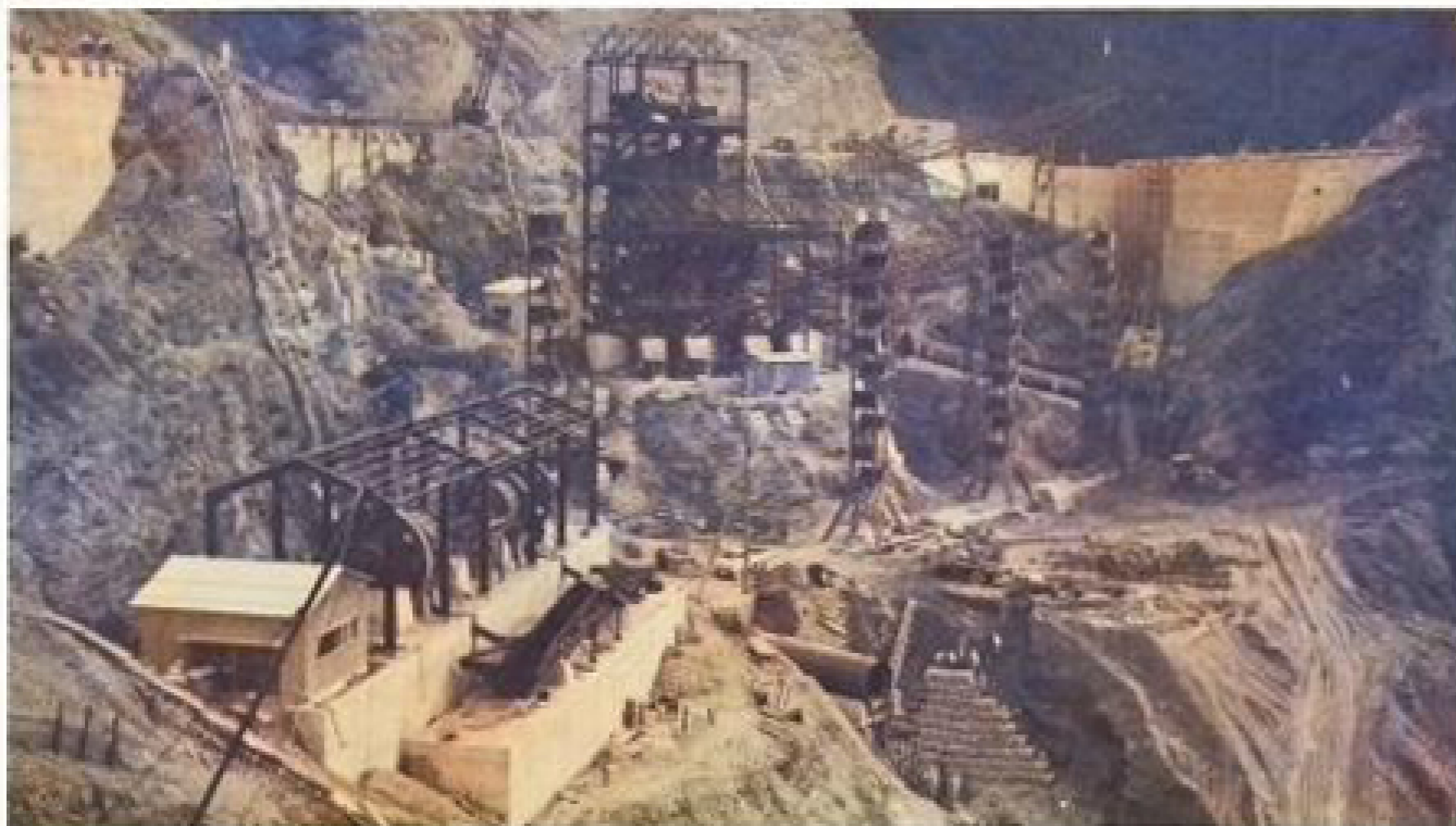
地名	不特定用水 既得用水	新規用水			合計
		都市用水	農農用水	計	
徳島	か 43.00 実か 15.00	10.50	か 3.22 実か 2.12	か 13.72 実か 12.62	か 56.72 実か 27.62
香川		4.50	か 8.00 実か 1.00	か 12.50 実か 5.50	か 12.50 実か 5.50
愛媛	か 1.47 実か 1.00	5.18	か 0.374 実か 0.005	か 5.554 実か 5.185	か 7.024 実か 6.185
高知		1.23		1.23	1.23
計			か 11.584 実か 3.125		

④

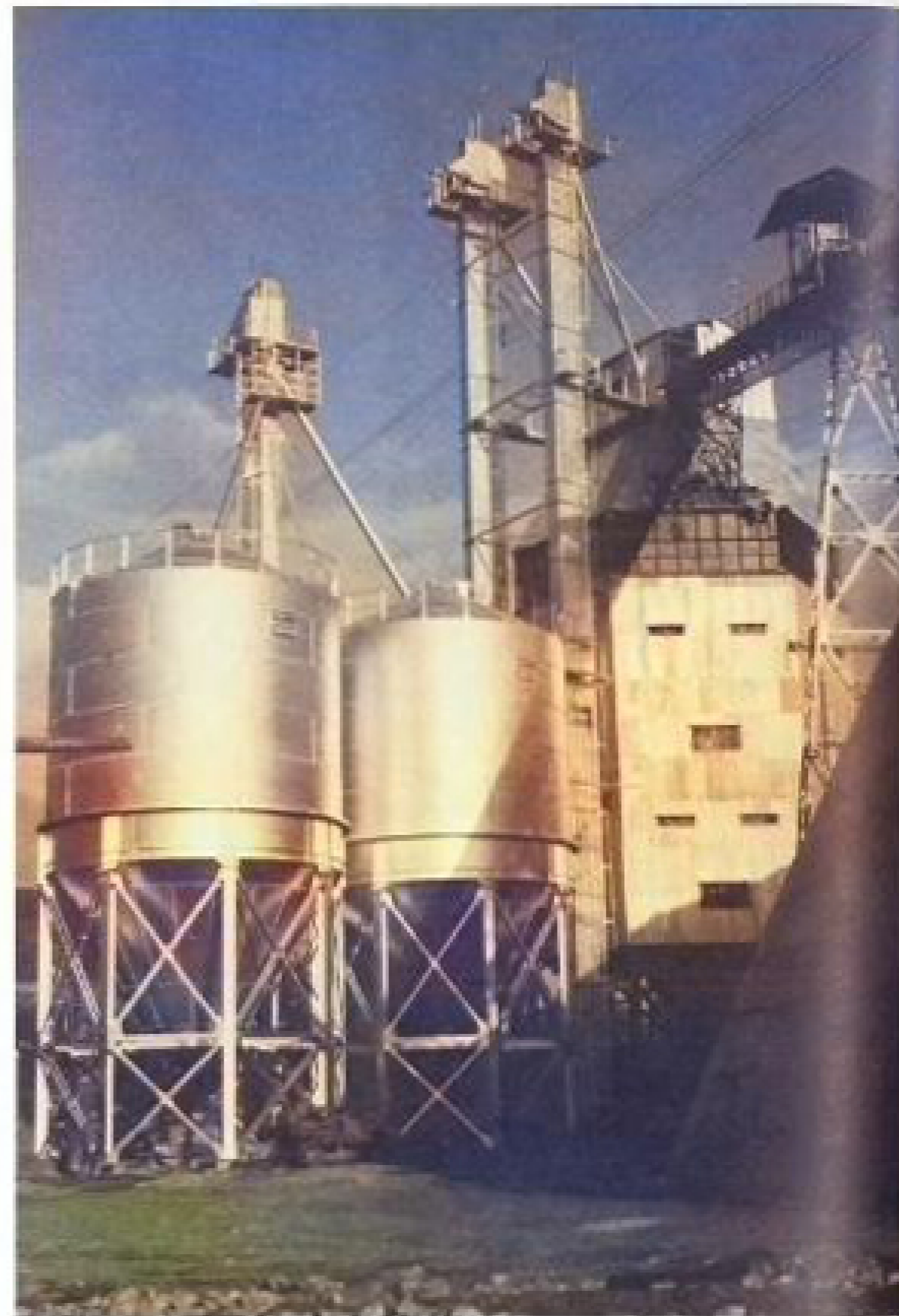




①



10 ②



③

- ①フルイ分工場全景
- ②建設中のプラント
- ③集合設備



④



⑤

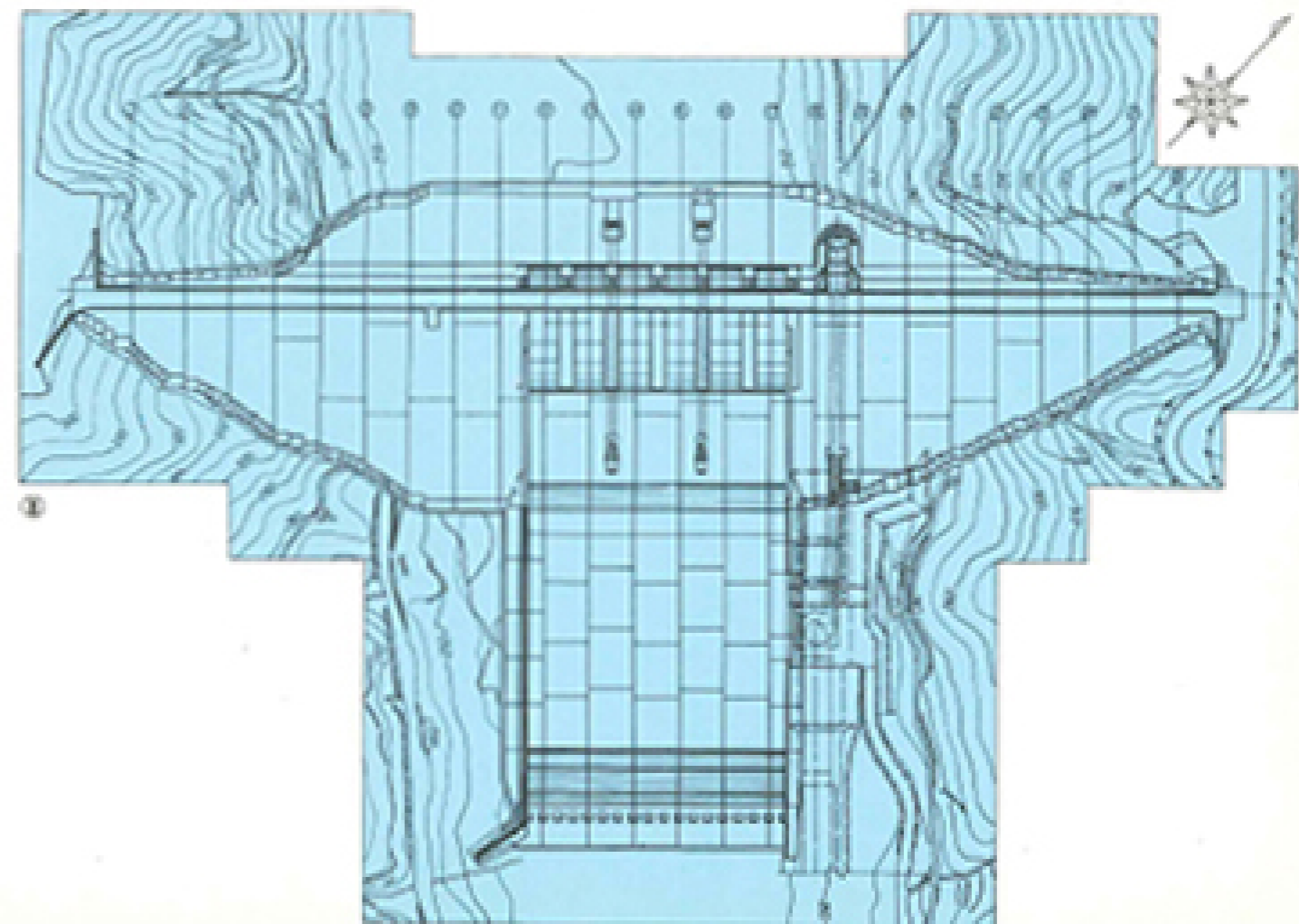
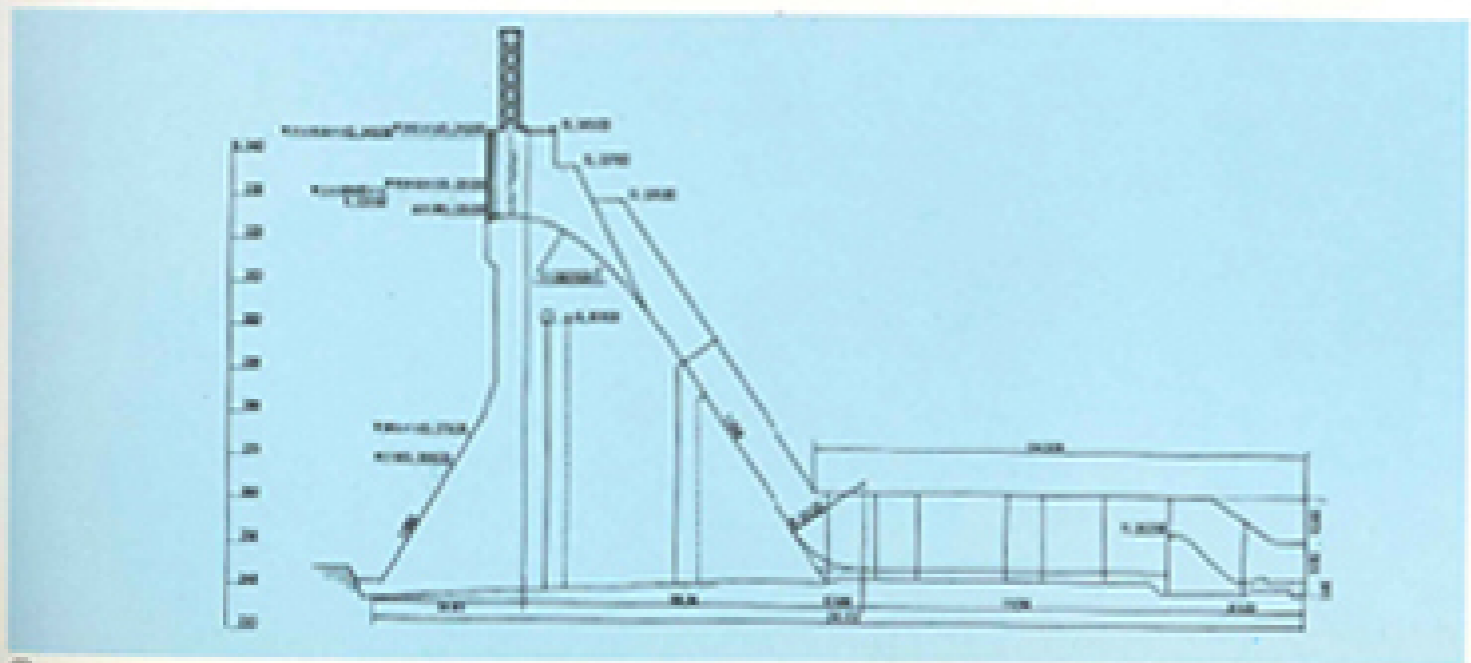
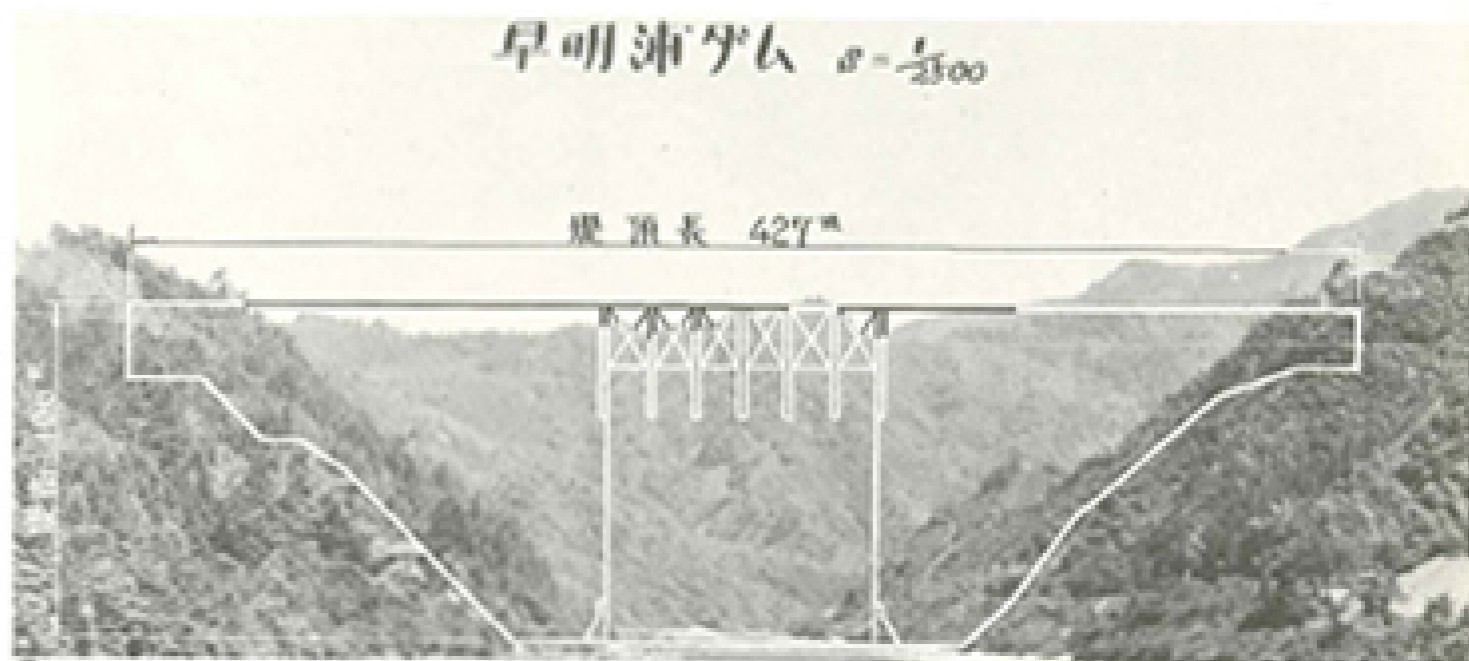
④⑤ ケーブルクレーン

ダムの建設

堤高 106m
 堤頂長 400m
 堤頂幅 6m
 堤体積 1,188,901m³
 天端標高 E.L. 345m

洪水時満水位 E.L. 343m
 低水位 E.L. 275m
 常時満水位 E.L. 331m
 集水面積 462km²
 湛水面積 7.5km²

総貯水容量 316,000,000m³
 有効貯水量 289,000,000m³
 計画洪水流量 4,700m³/S
 調節流量 2,700m³/S





①



②



③



④

- ①左岸掘削
- ②コンソリデーショングラウト
- ③岩盤検査
- ④打設開始
- ⑤100,000m³打設



⑤



⑥



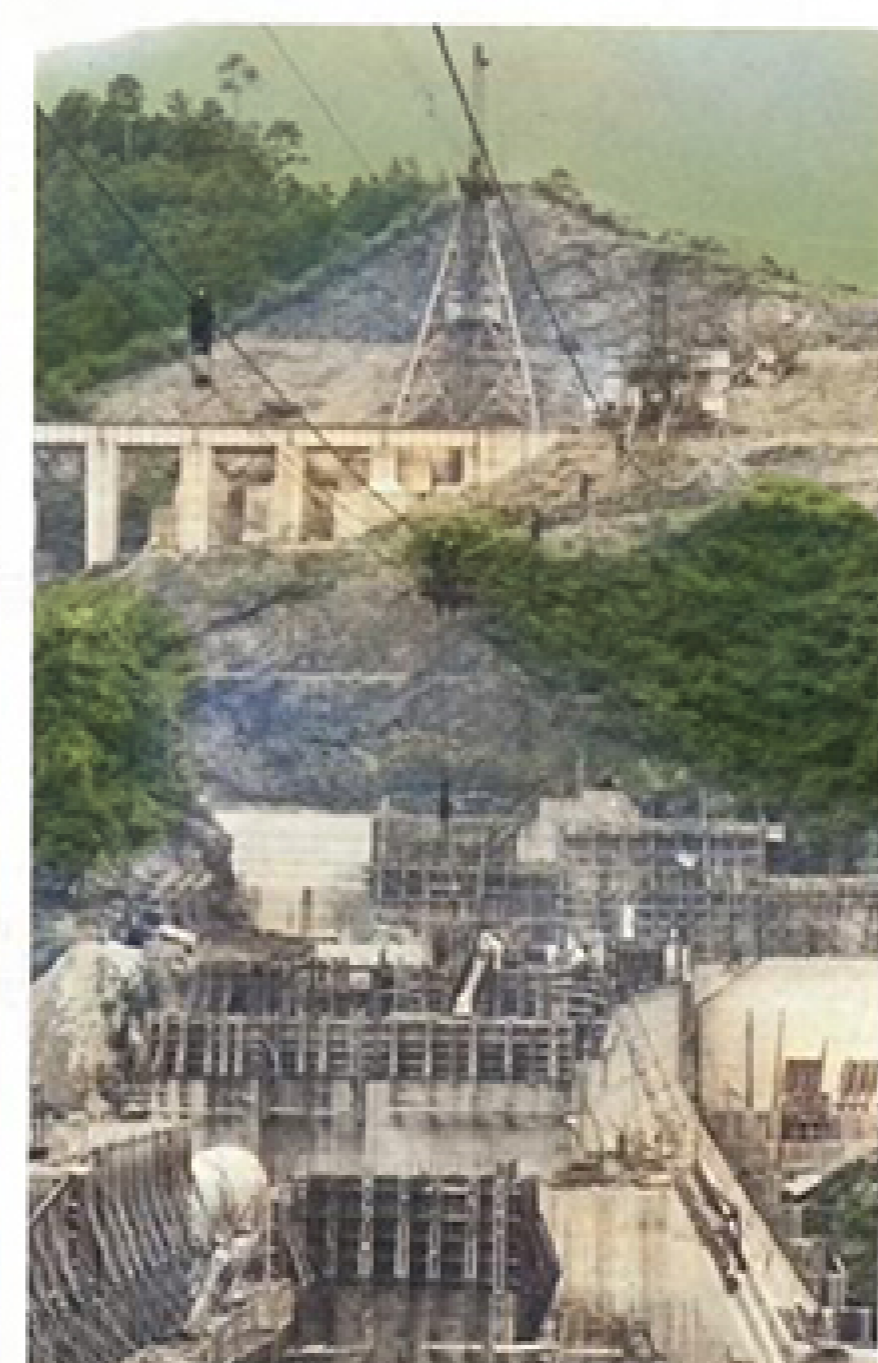
⑦



⑧



⑨



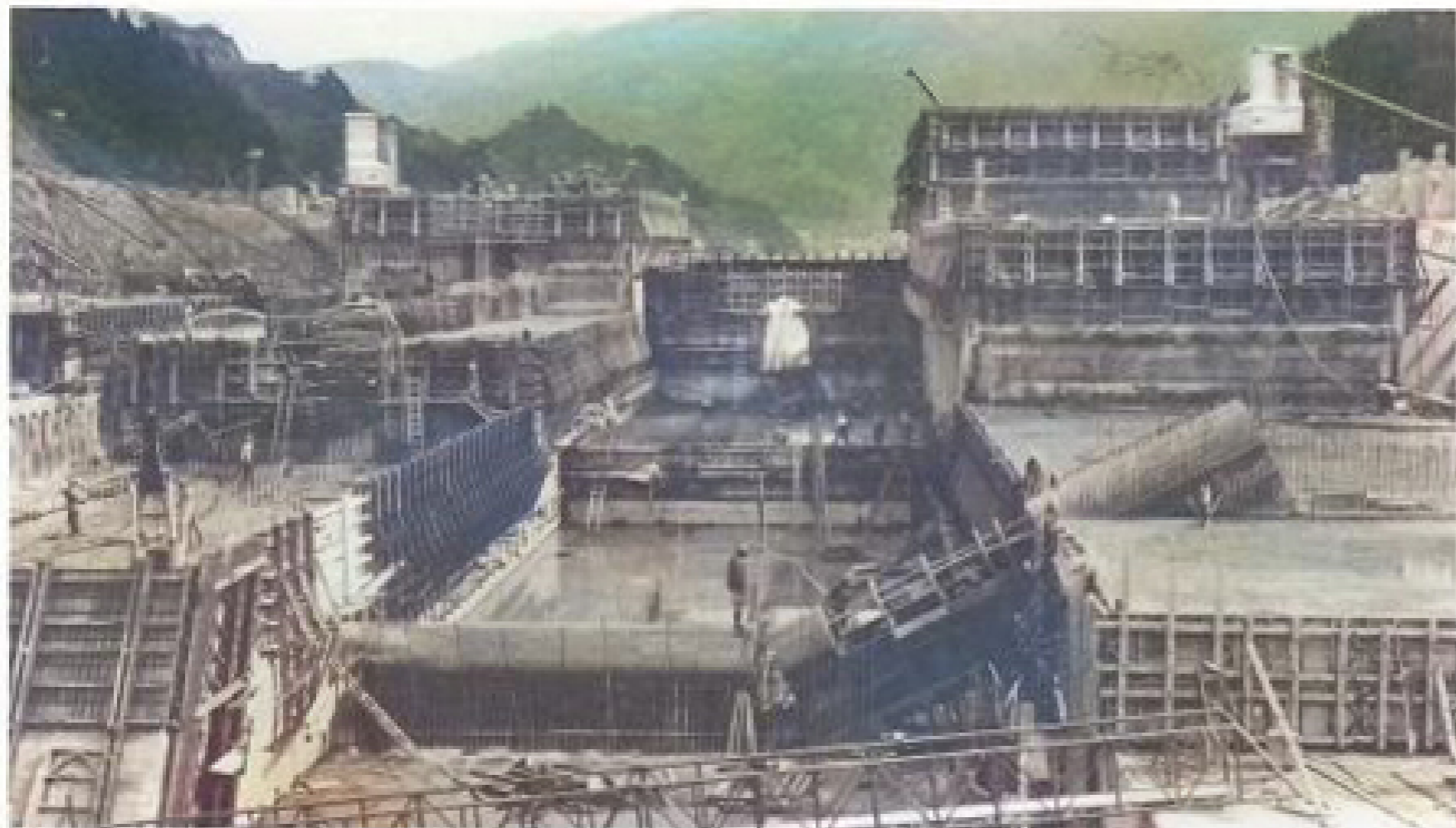
⑩

- ⑥定礎
- ⑦二次開切
- ⑧右岸掘削
- ⑨基礎処理
- ⑩リフト面



①

- ①発電用水圧管設置
- ②型枠およびジョイント面
- ③ジョイント面
- ④境外カーテン
- ⑤境内カーテン



16 ②



③



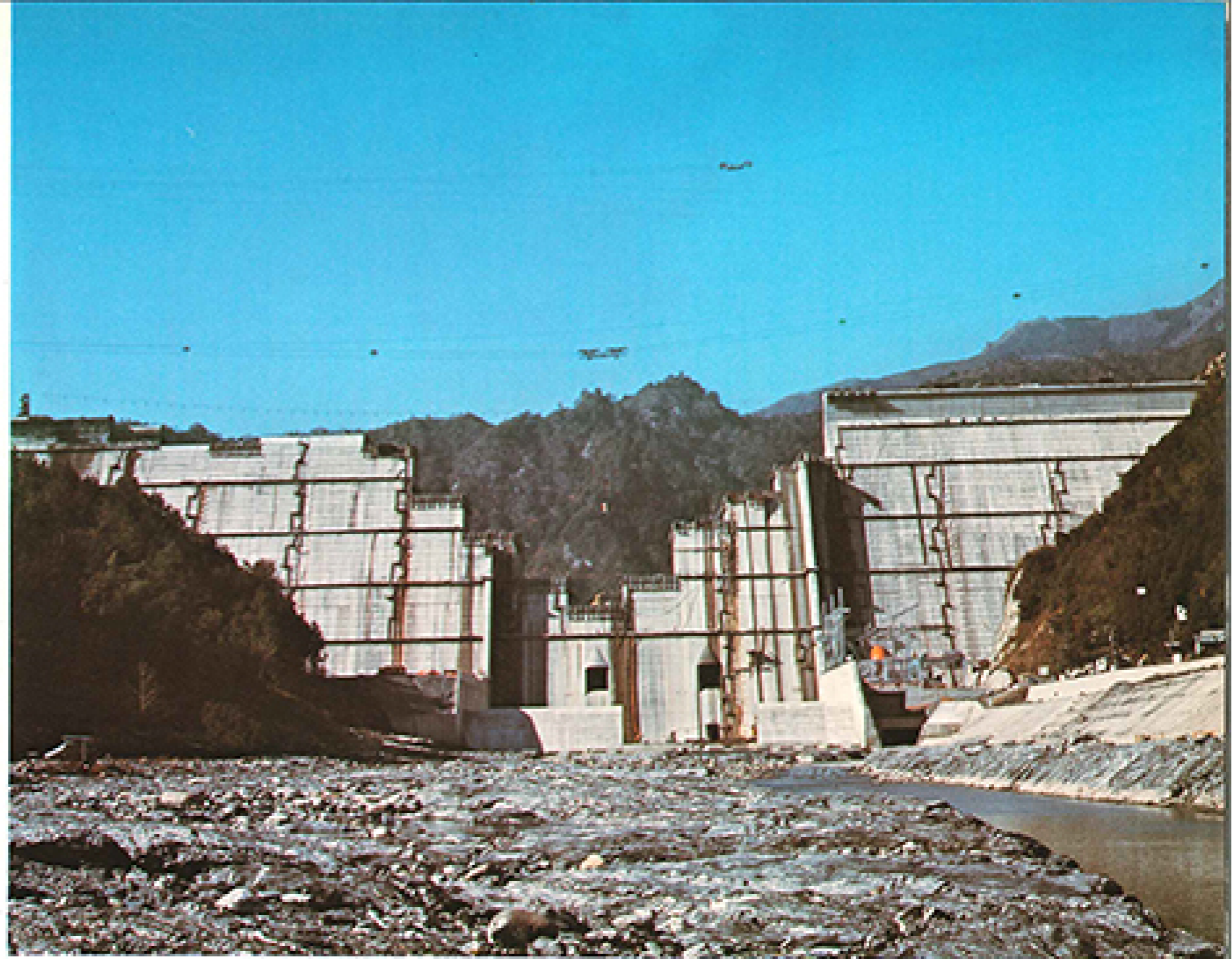
④



⑤



⑤



⑦

早明浦ダム本体コンクリート出来高表

昭和46年4月2日(全日)		22.9	27.9	計	118.0	0
過去の実績		累計出来高				
打設開始日	昭和43年12月9日			打設量	100863 ^{m³}	標準
100万 ^{m³} 達成日	昭和46年4月2日			今年度の累計	0 ^{m³}	
1日最大打設量	2042 ^{m³} 44年9月25日			今年度の打設量	940 ^{m³}	
1月最大打設量	5928 ^{m³} 44年10月			前年度の打設量	940 ^{m³}	
本日及び前日の予定				今年度の累計	940 ^{m³}	
				現在打設量	1001863 ^{m³}	
平均	最高	工率	工率	打設手段	振動	
50	262	87%	97%	17	100%	(同左欄)

⑥ 打設

⑧ 100万^{m³}時ダム

⑧

早明浦ダム——貯水を開始

昭和46年11月19日10時20分、吉野川の流れがとどえた。早明浦ダムが第1次一部貯水に入ったからである。

昭和44年5月23日、2次締切によって、堤内仮排水路に切替えられた吉野川であったが、自然にいとむ人間の力によって、あらたに人造湖が誕生したのである。

朝もやの深い中で、ブルドーザで締切が開始され、またたくまに吉野川の流れがとまり、戸当部の点検と清掃が手ざわよく進み、ダム天端附近に置いてあった、高さ5.25m、幅4.58m、重量14.3tの締切ゲートが、20トンケーブルクレーンに吊り下げられ、公団旗と日の丸をつけて、ゆっくりと、音もなく、100m下の堤内仮排水路の呑口部に降りて来た。

約200名の関係者が見守る中で10時15分、合図によって、ゲートが戸当りにくいいるように静かにおろされ、ゲートが静止するのをまって、秋の紅葉も終りに近い嶺北の山々に万才がこだました。工事関係者はうれしきでいっぱいであったろう。

早明浦ダムは高さ106m、堤頂長400m、堤体積約1,200,000 m^3 の重力式コンクリートダムで、総貯水量3億1,600万トン、有効貯水量2億8,900万トンを貯溜出来る多目的ダムで、11月末現在108万 m^3 のコンクリートを打設した。全体の96%である。

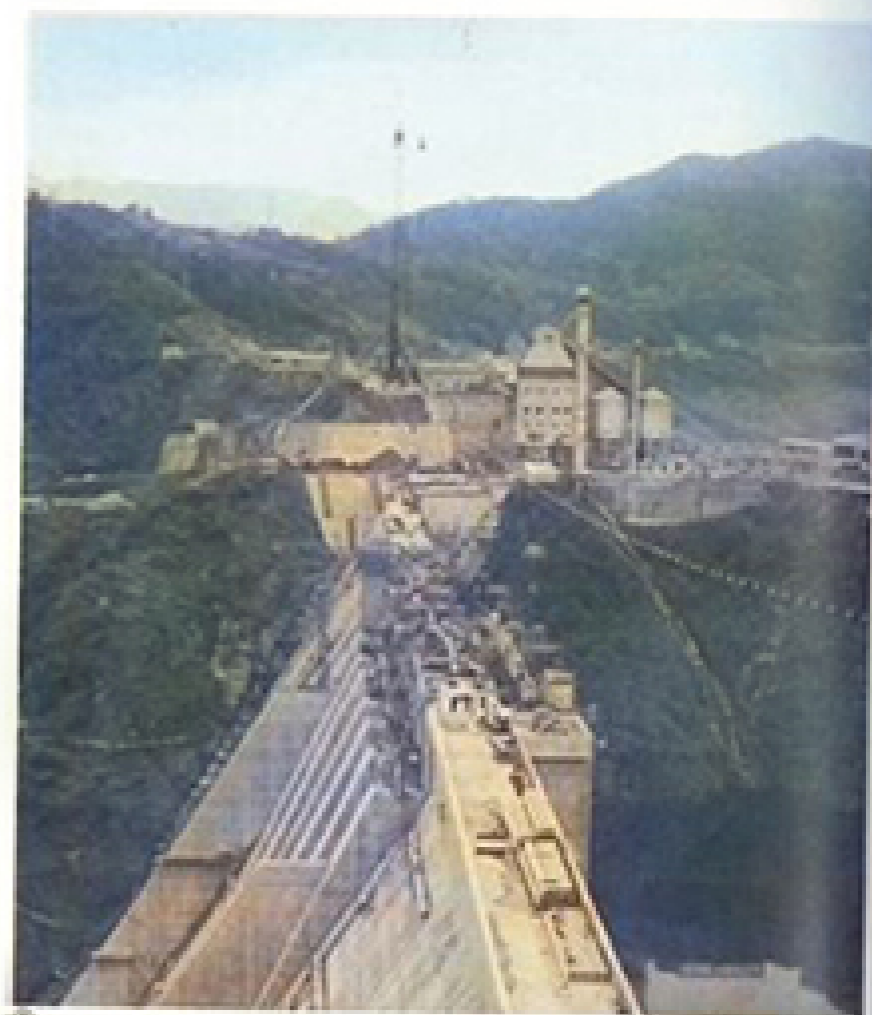
今回の貯水は、標高279m(常時満水位331m)の34,500万tonで全容量の11%に相当する。径2mの利水放水管は中心標高262mで下流端にホロージェットバルブ2門が設置してあり、発電開始以前でも、その標高に水位が達すれば、放水可能な状態である。

過去10年の資料で、標高279mに達するのに40日程度を要するが、今年は渾水年でもあり、かなりの日数になるおそれもある。

なお本体コンクリートの打設は47年10月完了し、クレストに設ける洪水調節ゲートは高さ18.8m、幅12.3m、重量143.7tを6門で、48年3月に竣功する見込である。(水登ともに第99号より)



①



②

- ①一次たん水
- ②天端構造
- ③完成写真(右ページ)





①



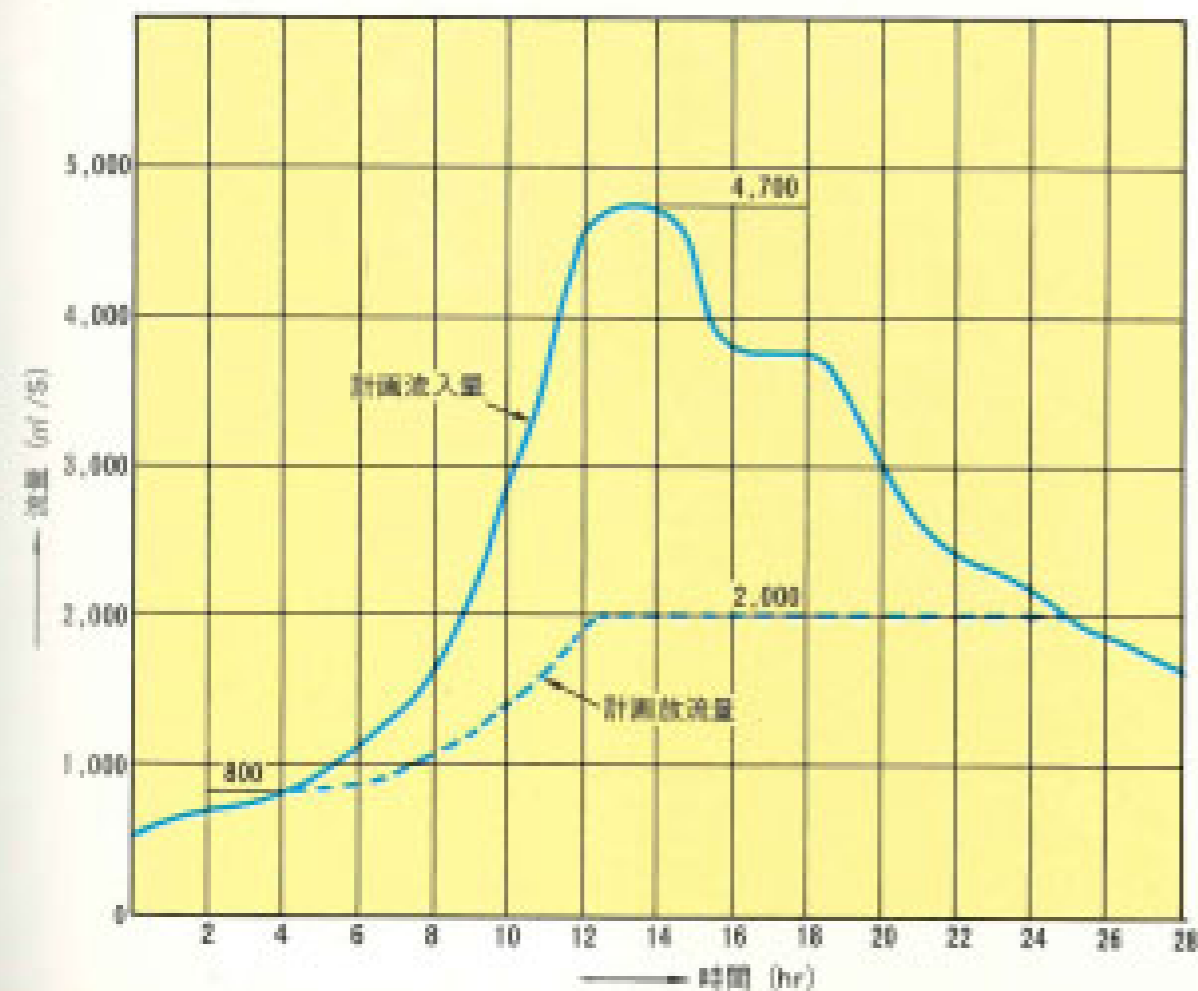
- ①完成ダム
- ②夜間作業のダム照明
- ③容量配分図
- ④洪水調節図
- ⑤⑥戸当り掘削
- ⑦⑧操作機

②

水の制御

基礎深さ	EL. 345.0m			
洪水時満水位	EL. 343.0m			
常時満水位	EL. 331.0m	洪水調節容量 90,000,000 m^3	サーチャージ容量 80,000,000 m^3	
洪水調節満水位	EL. 329.5m			
(7月1日-10月10日)		洪水調節水及び発電容量 199,000,000 m^3 うち発電単独容量 28,000,000 m^3	洪水調節水及び発電容量 289,800,000 m^3 うち発電単独容量 36,000,000 m^3	有効貯水容量 289,800,000 m^3
最低水位	EL. 275.8m			
堆砂面	EL. 268.8m			死水容量 18,000,000 m^3
基礎面	EL. 238.0m	総貯水容量 316,800,000 m^3		埋砂量 17,000,000 m^3

②



③



④



⑤



⑥



⑦

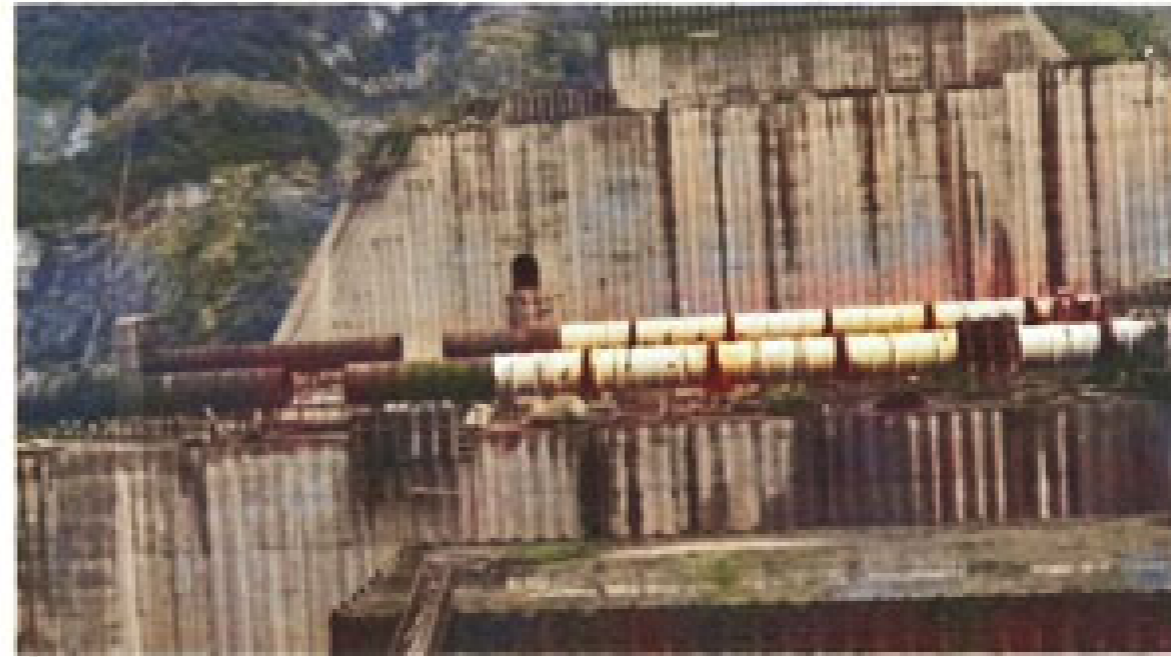


①



②

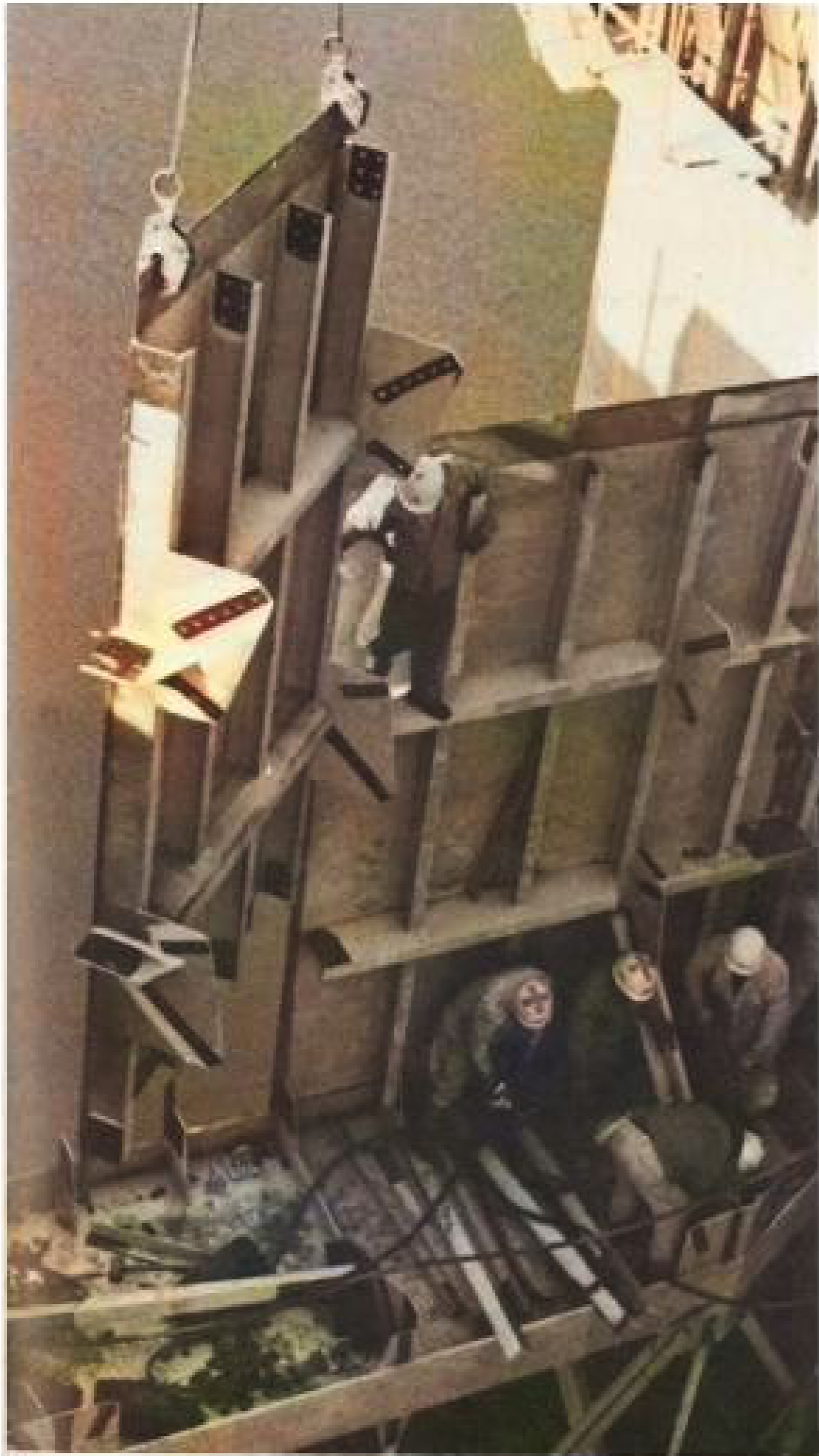
- ①リングフォロワー
- ②ホロージェット
- ③取水排水管機付
- ④揚上機
- ⑤ゲート組立
- ⑥沖作場架組立



③

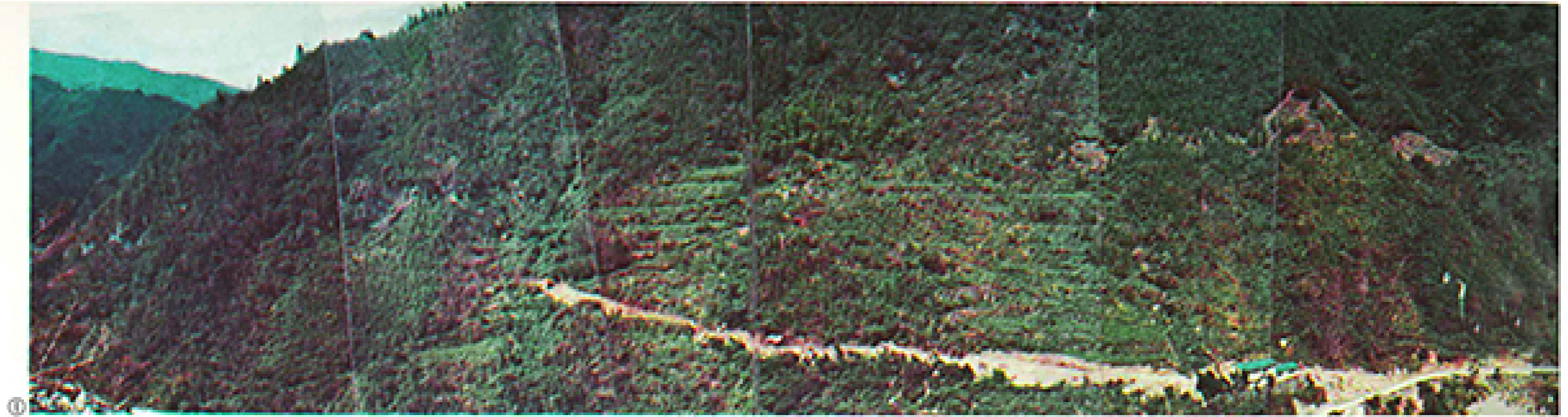


④



6

道路の 付替え



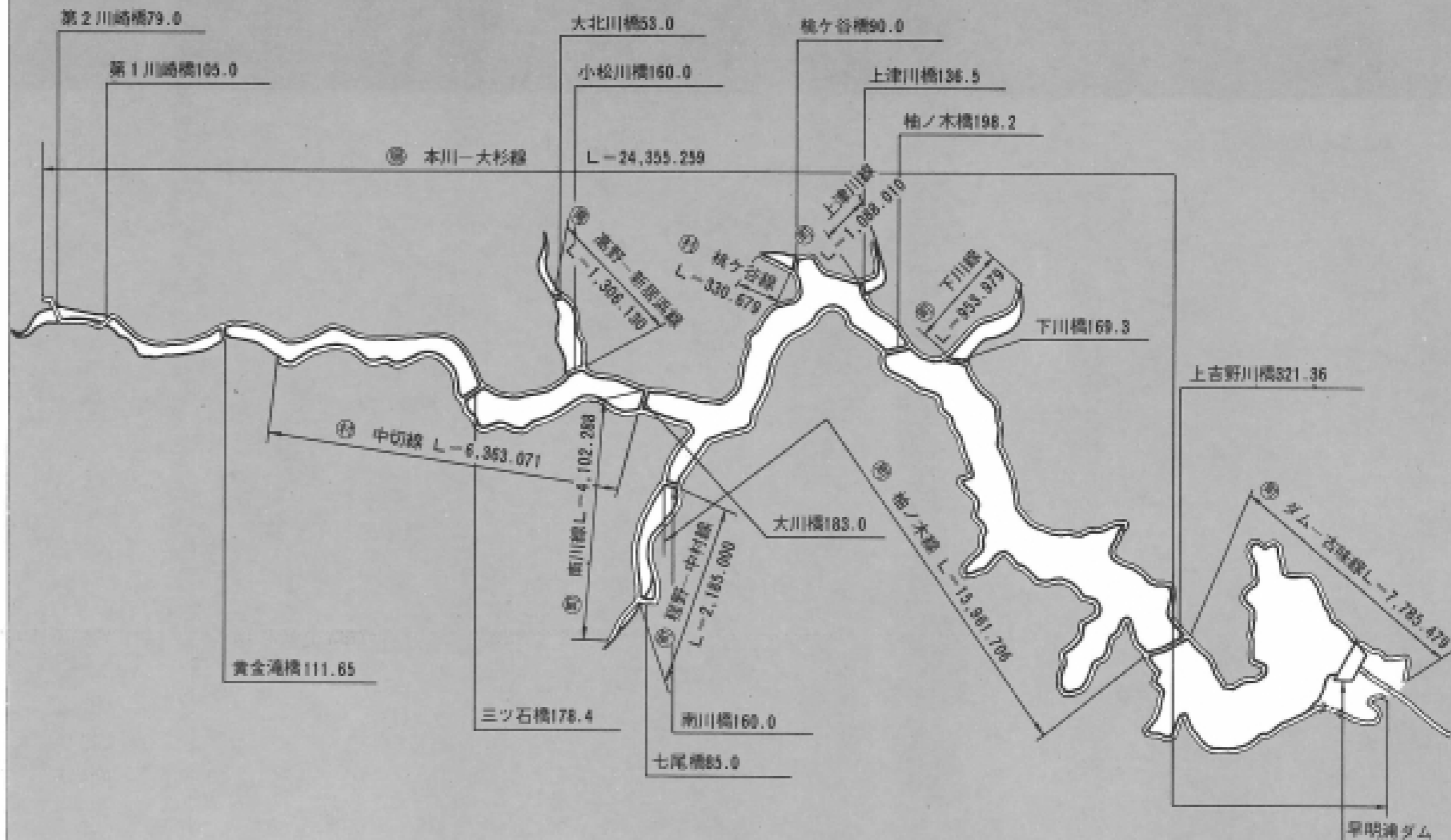
- ① 施工時
- ② 付替え工事中
- ③ 工事完成後

県道：

- 42.10.28
早明浦トンネル着手(工事用道路)
- 43.7.31
早明浦地区付替着手
- 43.11.30
上古野川橋下部工着手
- 43.12.21
小松地区及代替地着手
- 44.12.11
川崎地区付替着手
- 45.7.29
船戸・桃ヶ谷地区付替着手
- 45.9.10
第一川崎橋上部工着手
- 45.12.26
小松川橋及付替着手
- 46.5.15
小金谷地区付替着手
- 46.9.21
木屋野地区(その2)着手(48.3.31引渡)

町村道：

- 43.2.27
町道柚ノ木線着手(46.11.10引渡)
- 43.12.26
町道南川線着手(47.8.15引渡)
- 44.6.6
ダム・古味線着手(50.3.31引渡)
- 44.9.27
村道中切線着手(49.3.30引渡)
- 45.9.19
町道下川線着手(47.8.1引渡)



④ダム貯水池内平面図



1



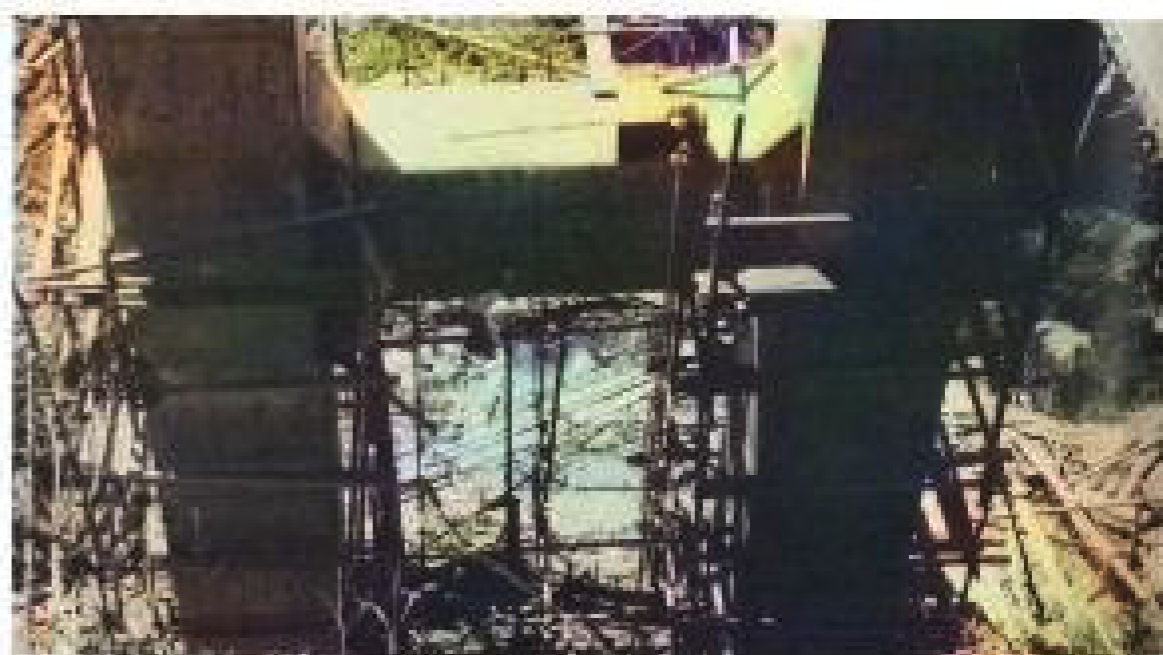
2



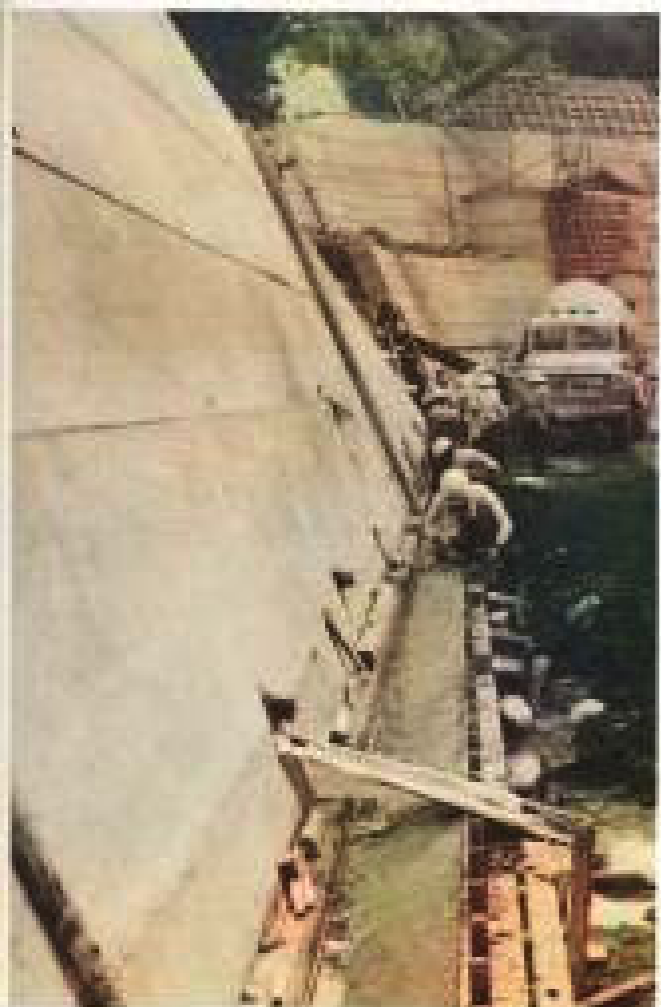
3



4



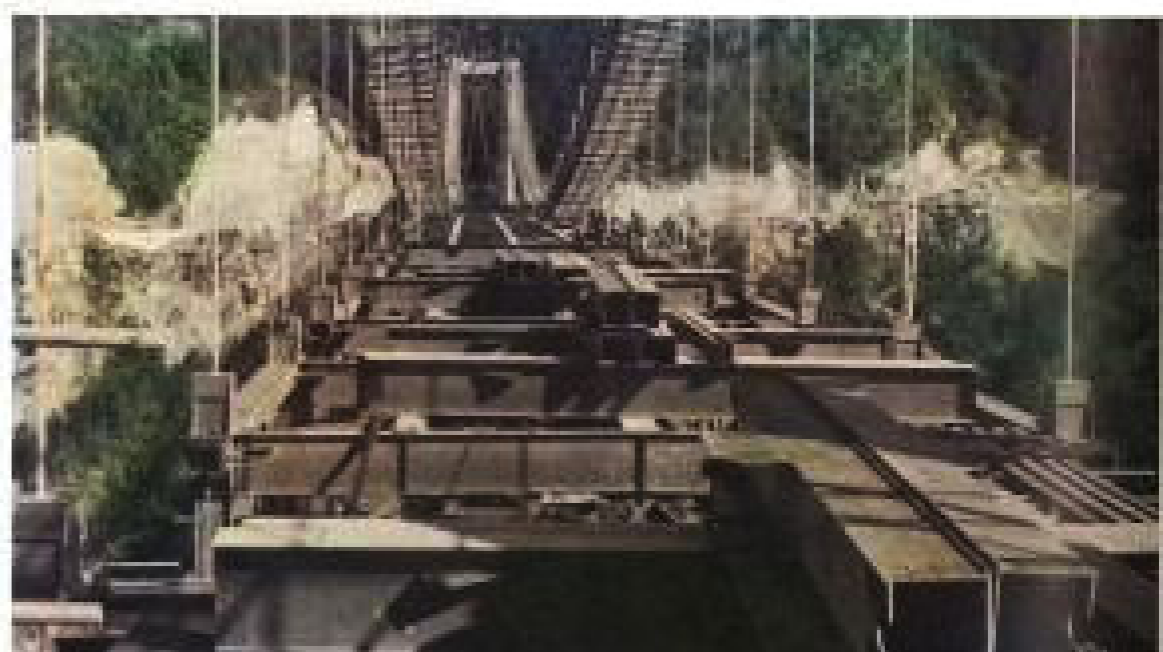
5



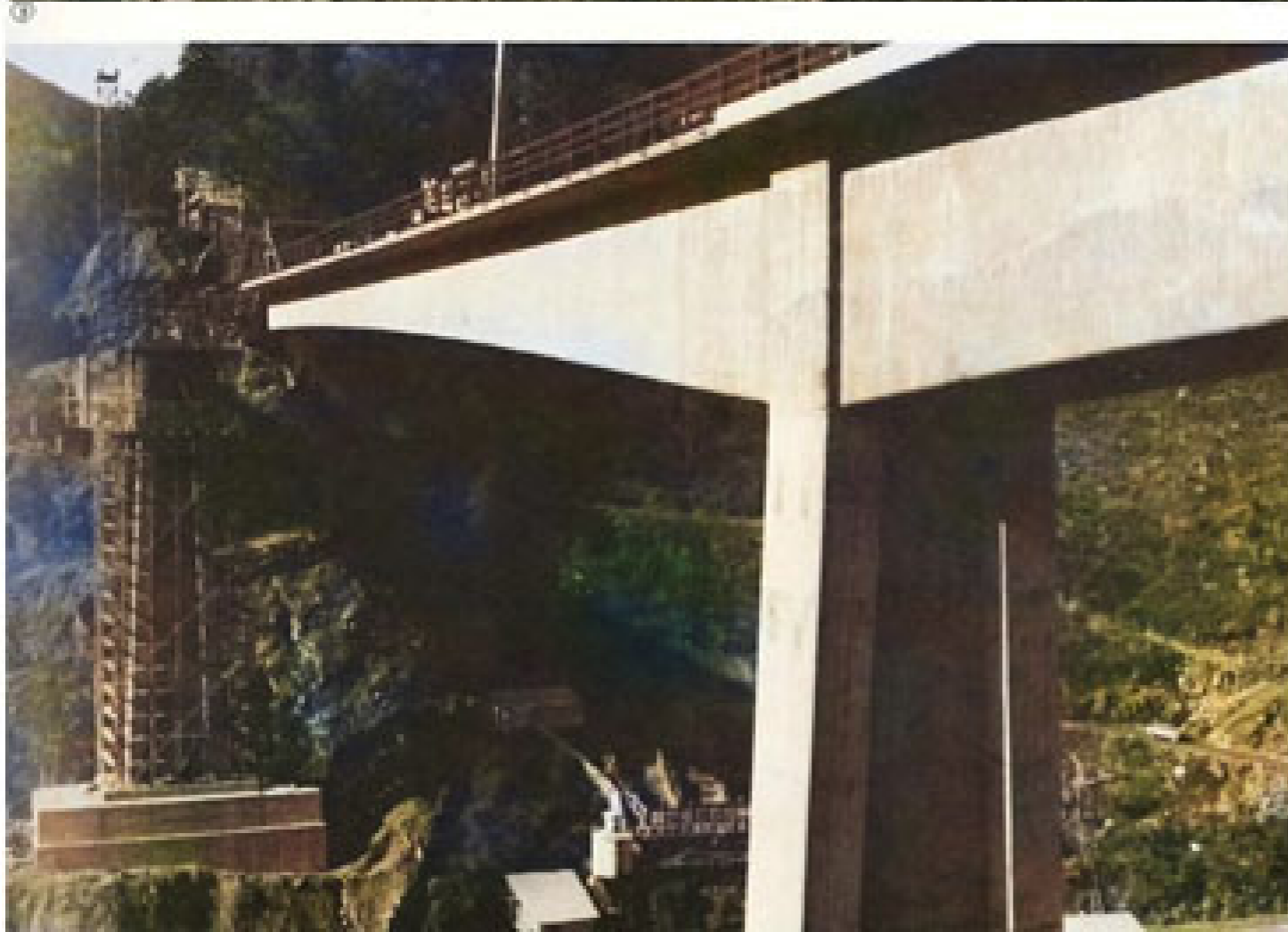
6



7



8



- ①橋脚
- ②橋梁
- ③④モルタル吹付
- ⑤鉄骨工
- ⑥⑦上津川橋下修工
- ⑧上吉野川橋仮設
- ⑨下河橋
ランガー工事中
- ⑩小松川橋
アビダーク工事中
- ⑪桂の木橋
つり橋工事中

変る嶺北

水没諸元：

土地 789.1ヘクタール

家屋 352世帯

公共施設 56棟

付替道路 64.441km

トンネル 2ヶ所

橋梁 22橋

代替地 5ヶ所

用地経緯：

39. 6.30. 土佐村と立入調査協定交換

9. 4. 本山町と *

41. 3. 6. 大川村と *

8. 6. 土佐村(関係者)補償協議開始

8. 8. 本山町 * *

11.17. 大川村 * *

42. 3. 1. 原石山民地買収

8. 7. 一般補償基準発表

10.27. * 妥結

43. 5.29. 嶺北漁協 *

7.19. 大川村基本協定 *

12. 2. 土佐町, 本山町基本協定妥結

* 大川漁協 *

44.10. 1. 大川村公共補償妥結

* * * 土佐村 * *

46. 7.24. 徳島漁連 *

49. 3.25. 大豊町公共補償妥結

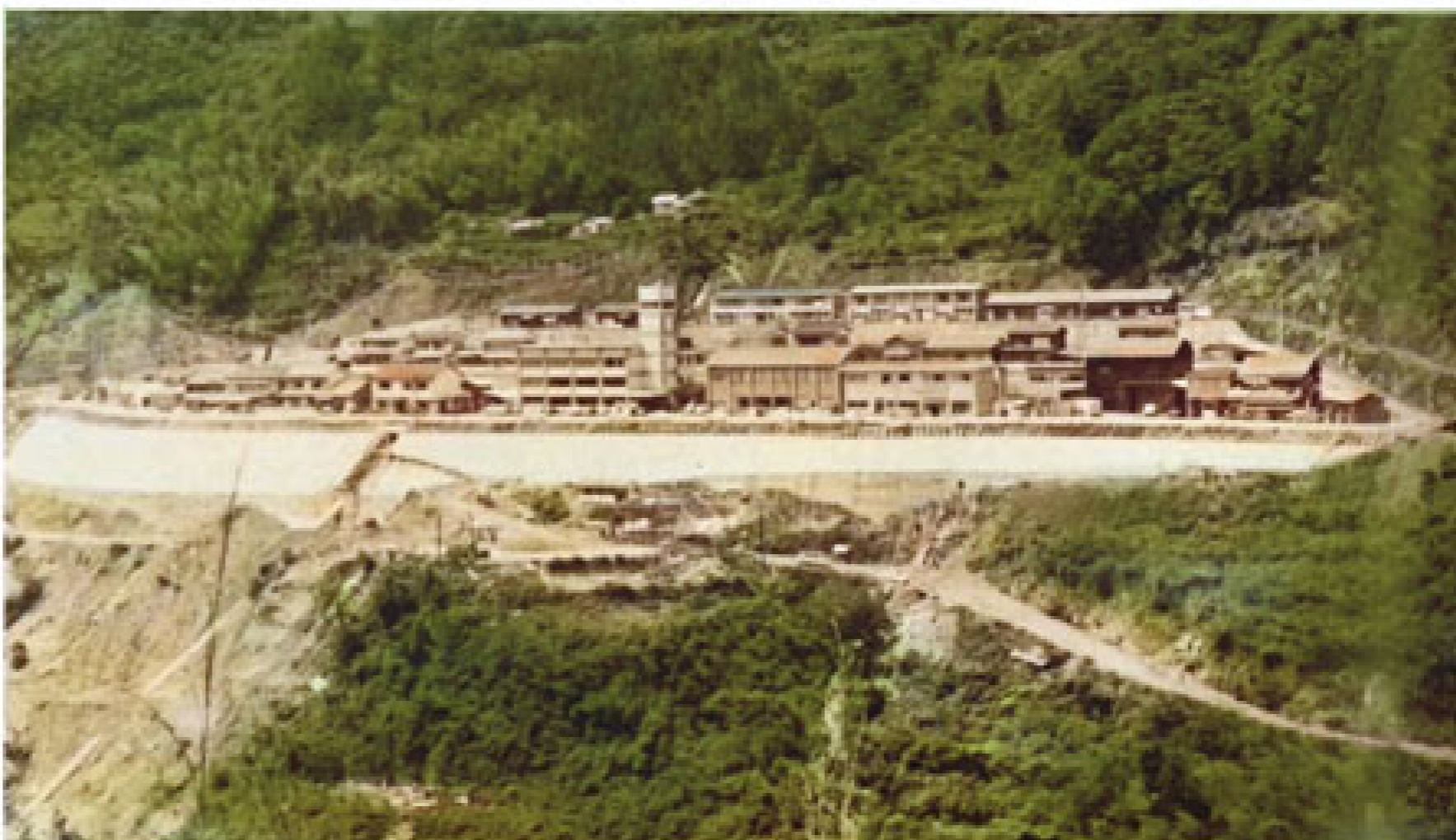
7.31. 本山町 *

11.13. 山城町 *

50. 3. . 土佐町 *



①



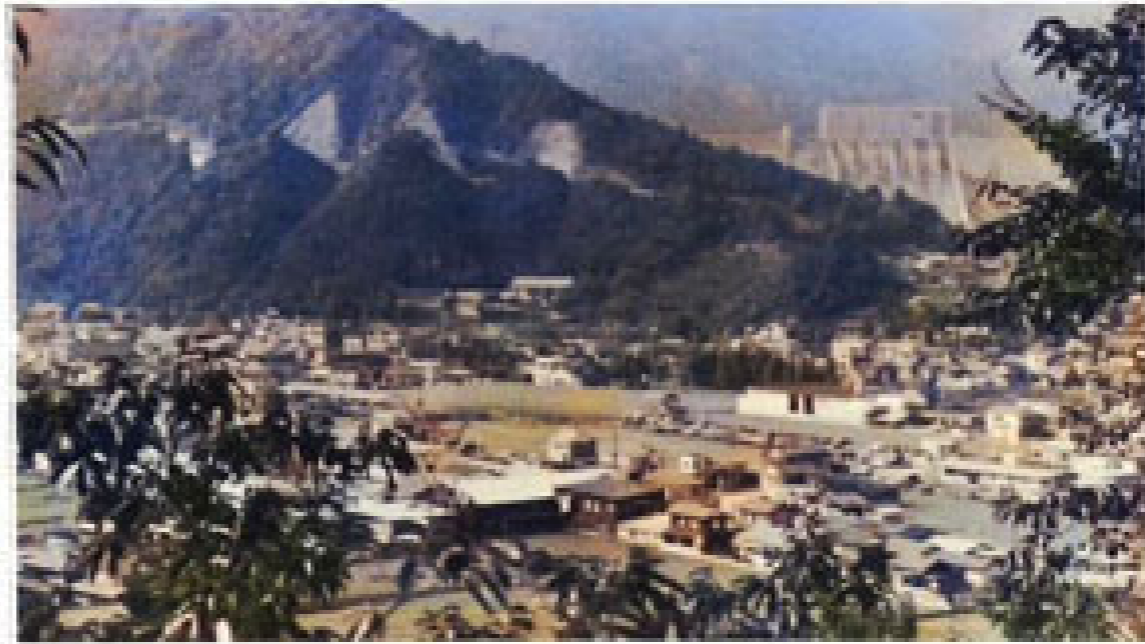
②

①船戸部落

②小松団地(中島)



③



⑥

- ③水没した大河内小中学校
- ④中切小中学校
- ⑤プール
- ⑥完成時の田井
- ⑦施工時の田井



④



⑦



⑤



①

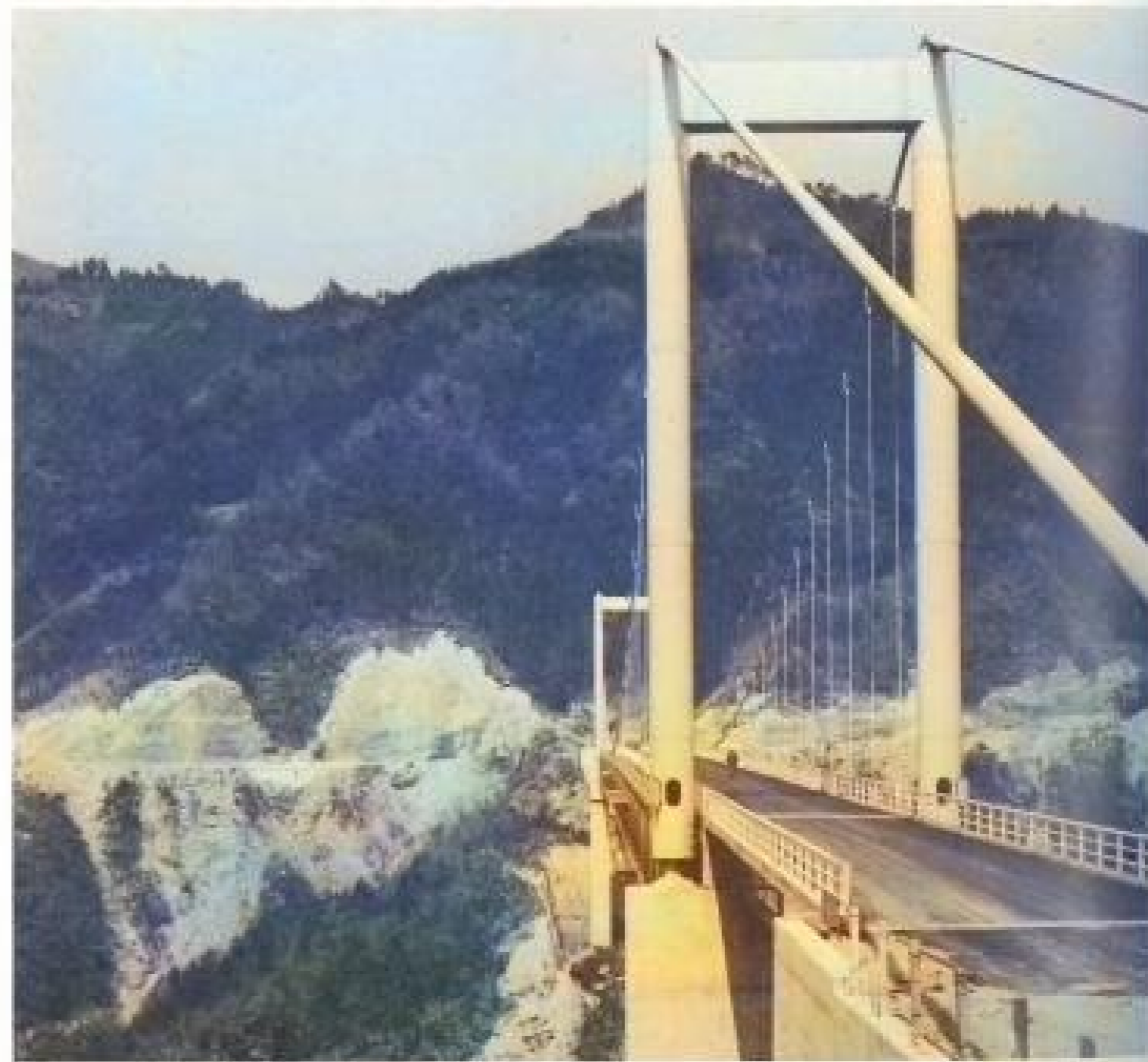


②

- ①たん水
- ②上古野川橋
- ③右岸遊園
- ④上古野川橋
- ⑤ダム航空写真
- ⑥青少年等の家
- ⑦ルック「土佐10」



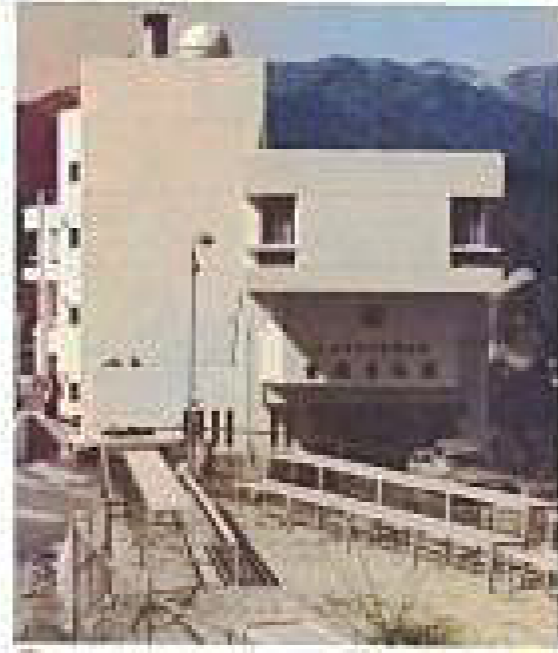
30 ③



④



⑤



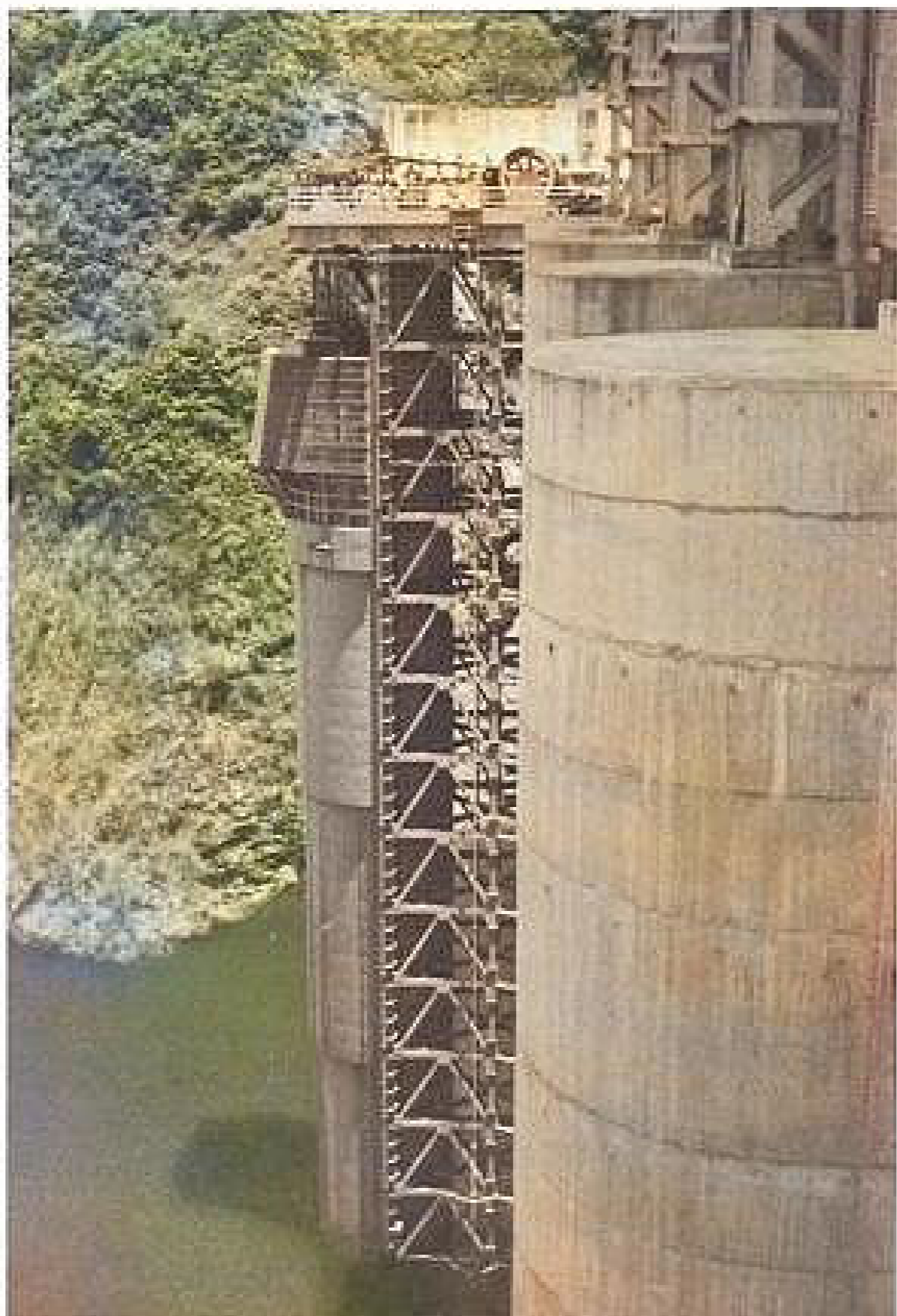
④



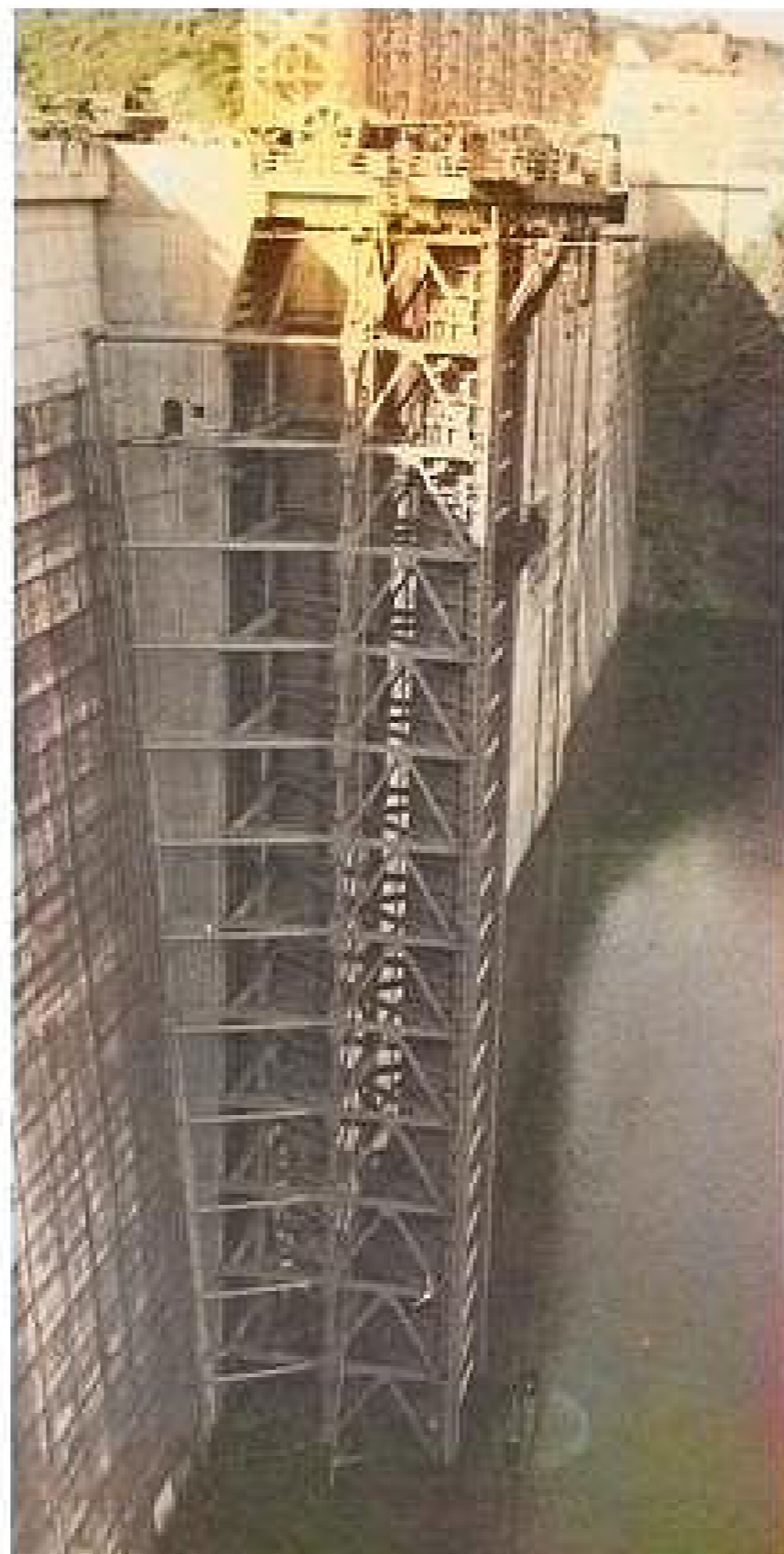
②



環境保全のため



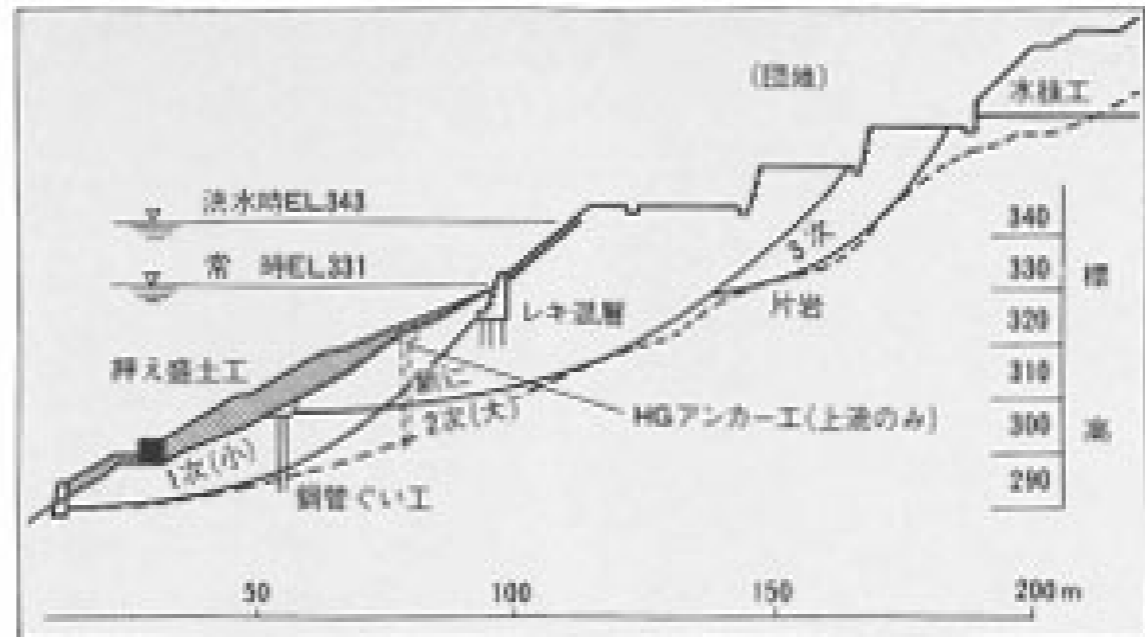
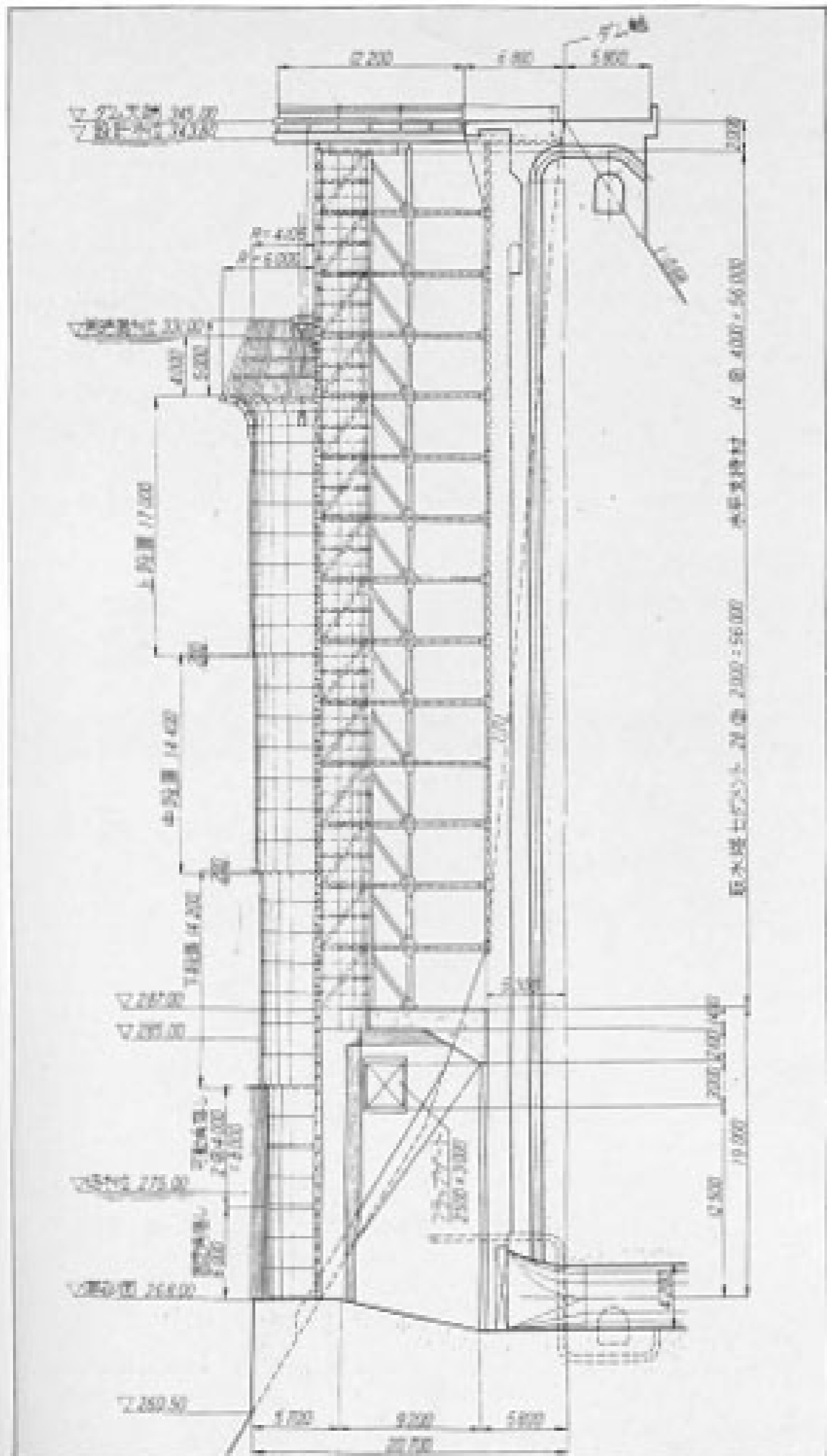
32 ①表面取水設備工事完成



②工事中



③工事中

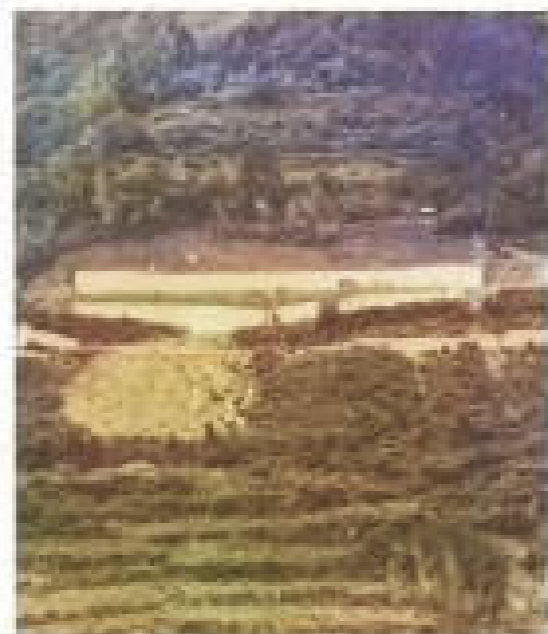


- ①表面取水設備工一般図
- ②小松田地区Tへの対策図
- ③押し盛り工

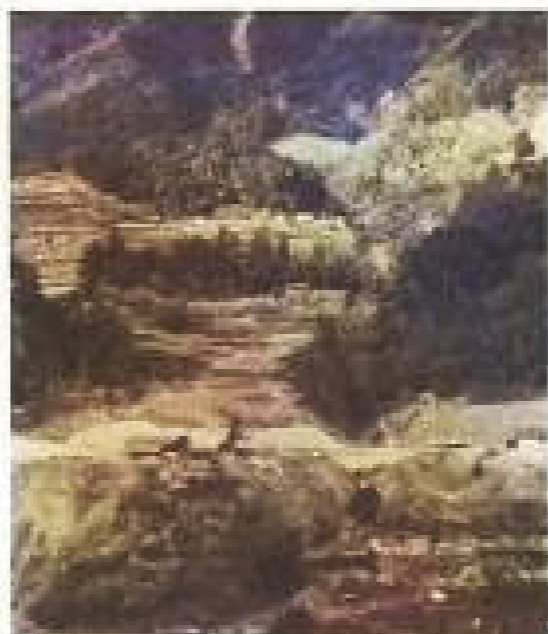




①



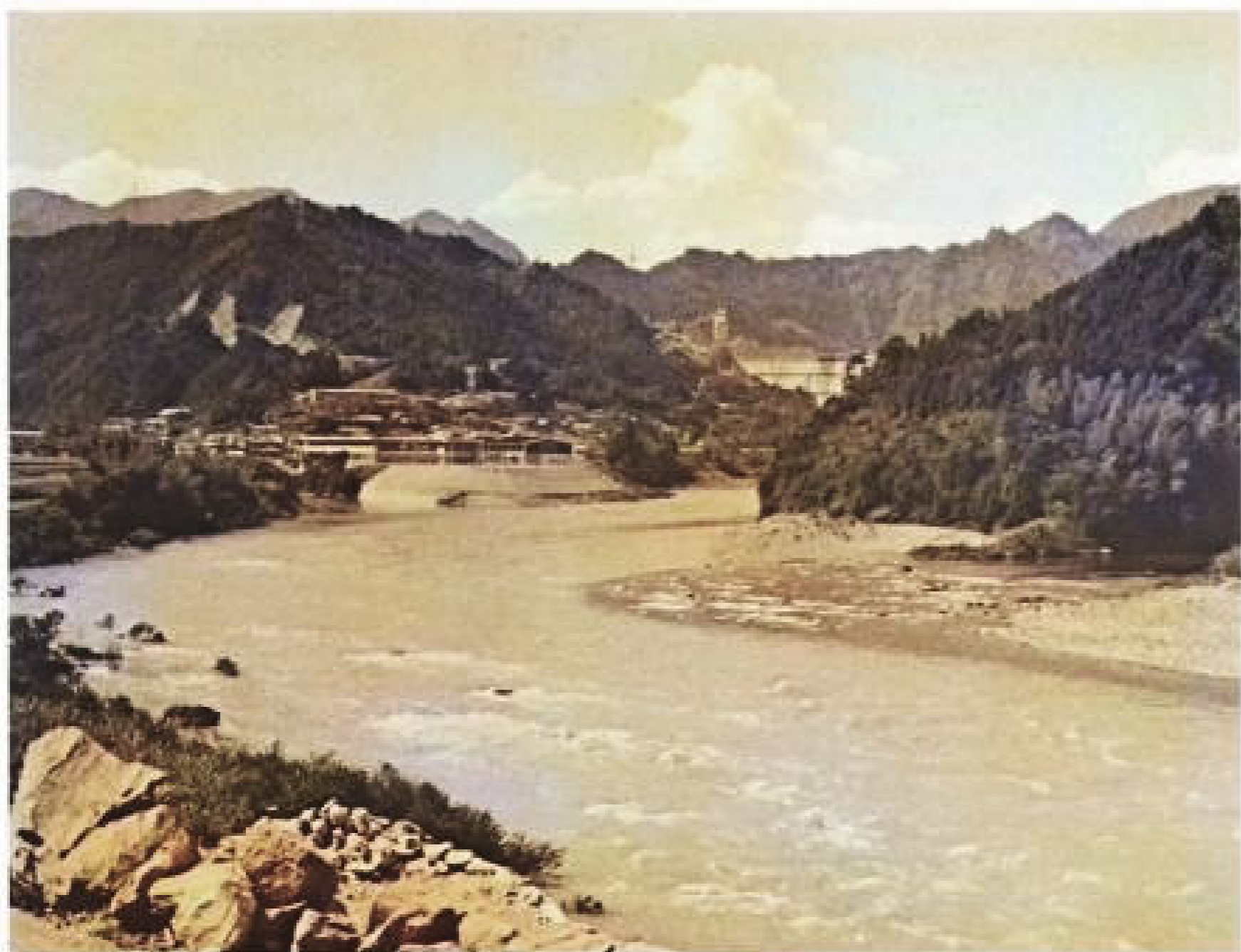
②



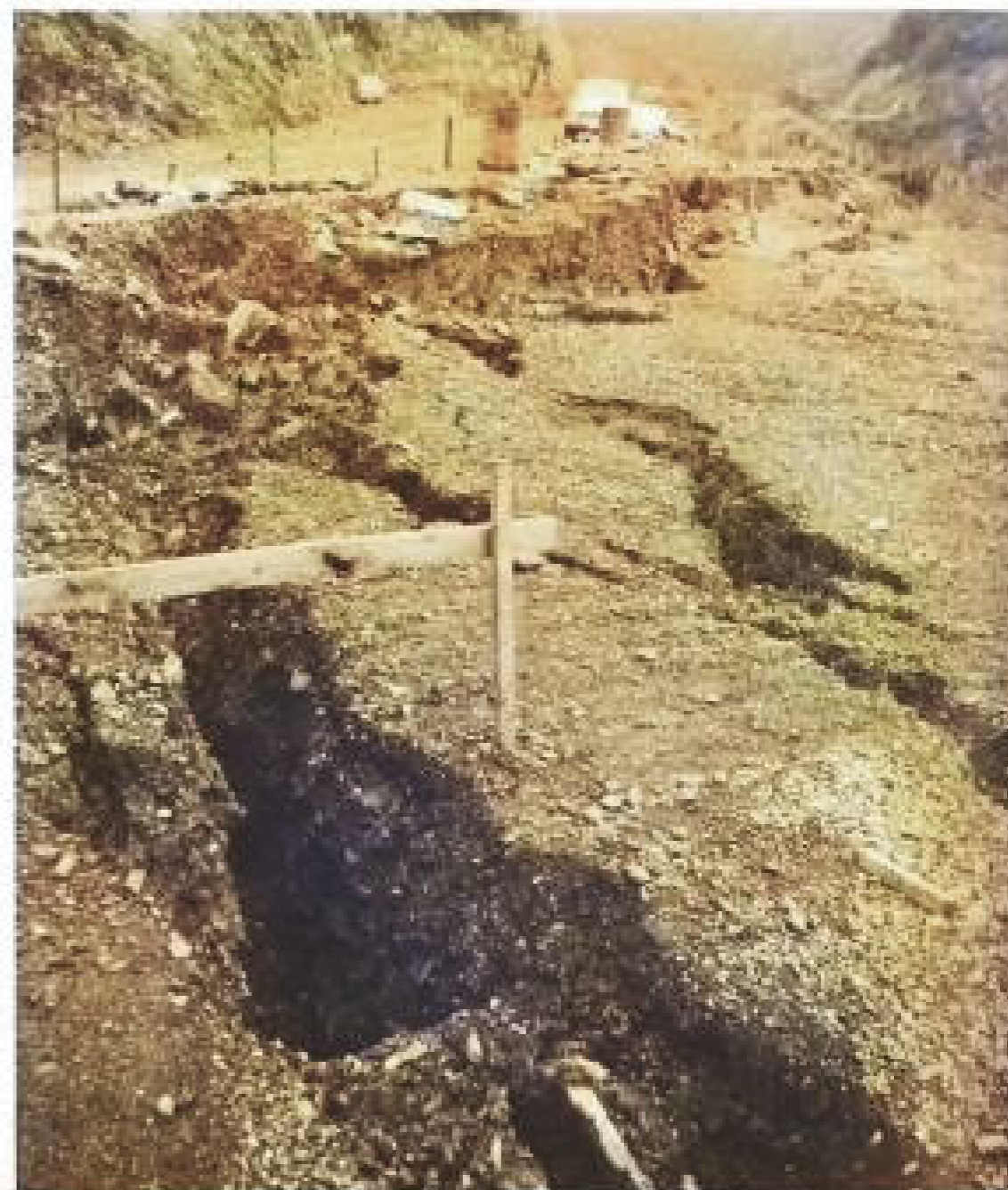
③



④



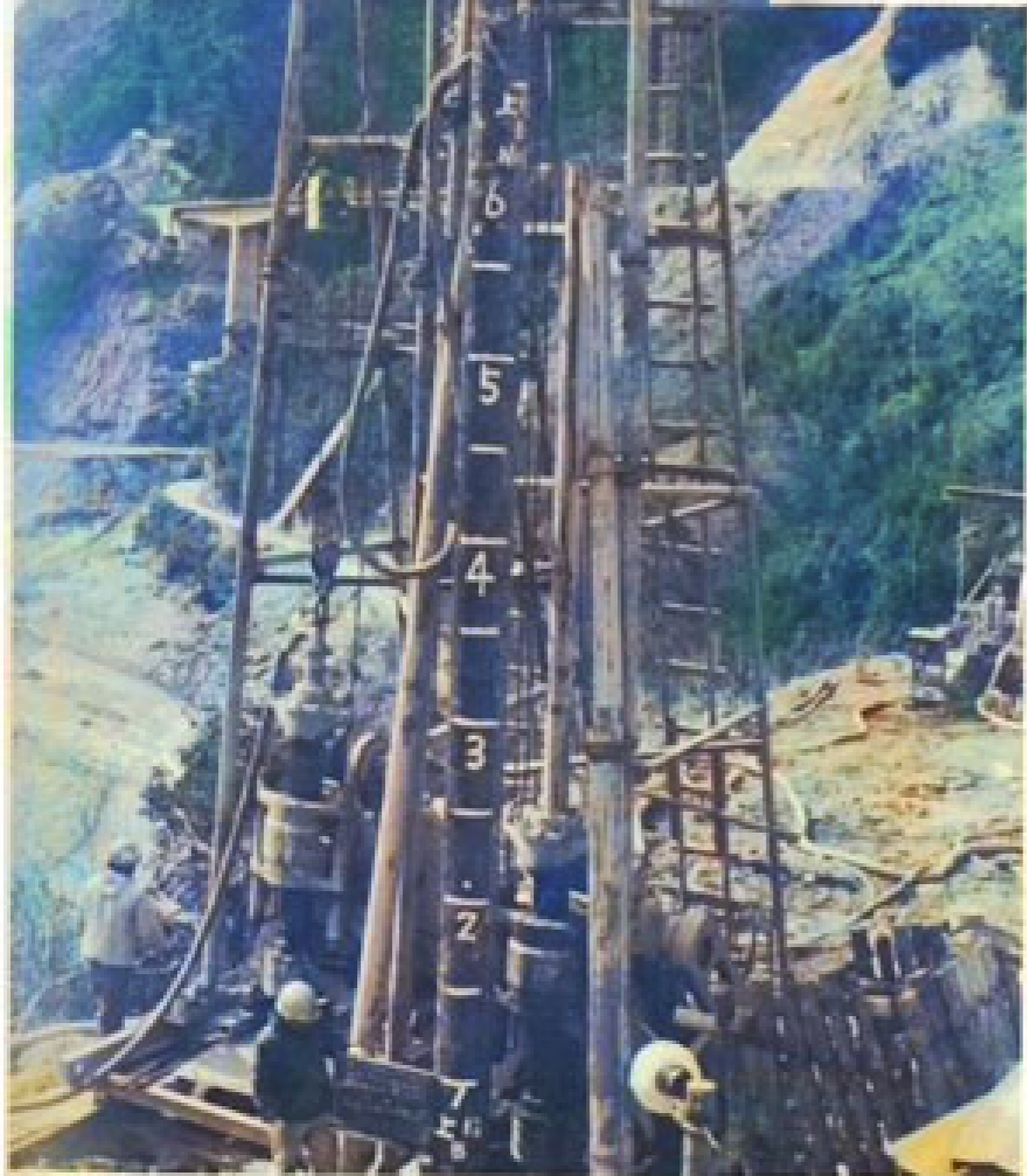
34 ⑤



⑥



- ①地すべり地帯大又
- ②地すべり地帯土層
- ③地すべり地帯木屋敷
- ④地すべり地帯小滝川
- ⑤下流濁水
- ⑥貯水地内クラック
- ⑦鋼管くい
- ⑧トンネル工事中



①



②



③

管理にそなえ

管理規程抜粋：

(管理の目的)

第3条 早明浦ダムの管理は、次の各号に掲げるものをその目的とする。

- ① 洪水調節
- ② 吉野川の流水の正常な機能の維持
- ③ 徳島用水
- ④ 香川用水
- ⑤ 愛媛分水
- ⑥ 高知分水

(洪水)

第5条 洪水は、貯水池への流入量が毎秒800㎡以上である場合の当該流水

(洪水警戒体制)

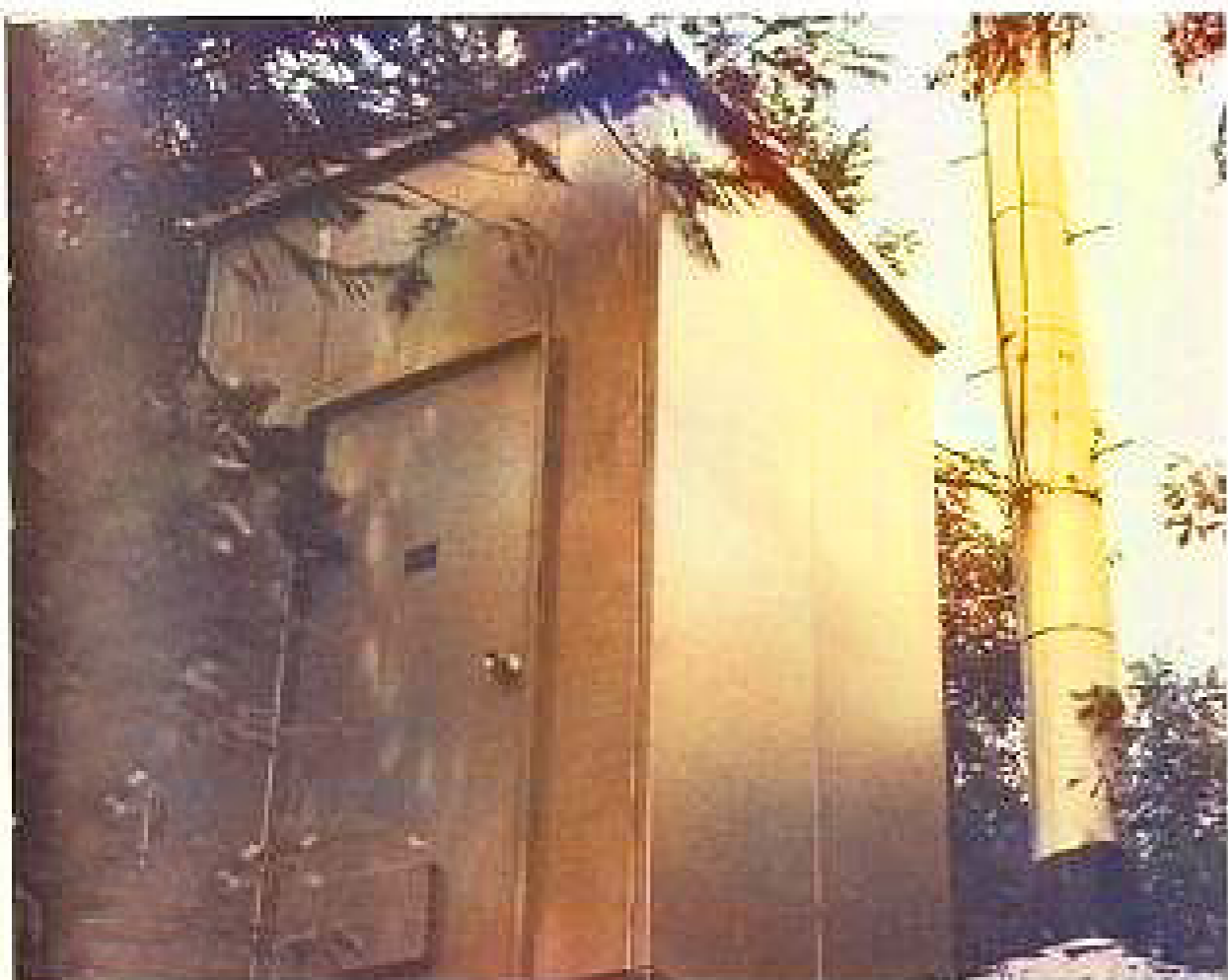
第17条 池田総合管理所長は、次の各号の1に該当する場合においては、洪水警戒体制をとる。

- ① 高知気象台から、降雨に関する警報が発せられたとき
- ② 建設省吉野川ダム統合管理所長から指示があったとき
- ③ その他洪水の発生が予想されるとき

(放流の原則)

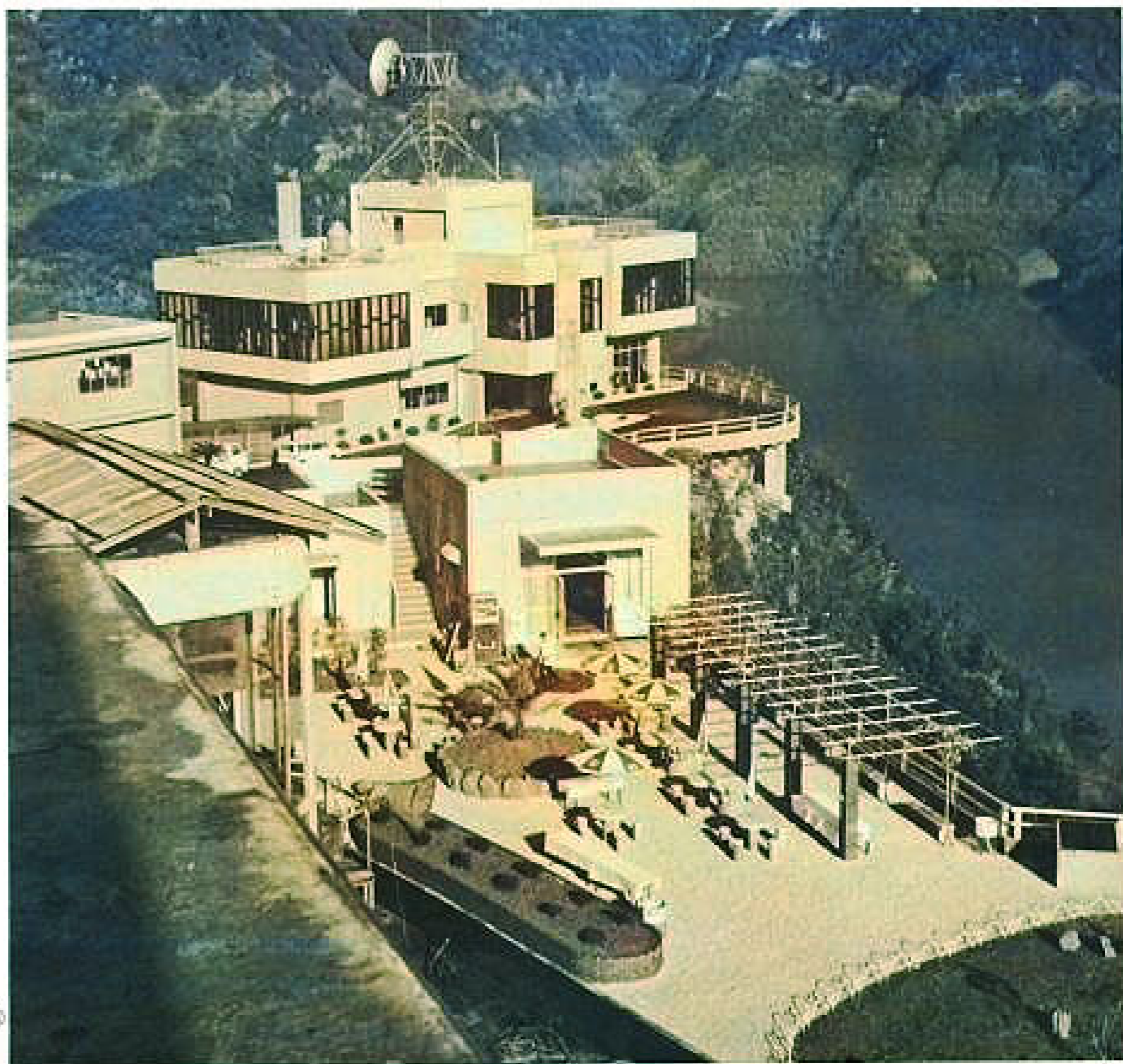
第24条 所長は、ダムから放流を行なう場合においては、下流に急激な水位の変動を生じないように、かつ無効放流とならないよう努めるものとする。





①

- ① 監視所位置図
- ② 大土雨量観測所
- ③ 水位観測所
- ④ 管理所



④

水を治める

早明浦ダムの水は四国のいのち：
 吉野川総合開発の要ともいべき早明浦ダムは、関係各方面の絶大なるご協力のお蔭をもちまして、このたび竣工のはこびとなりました。

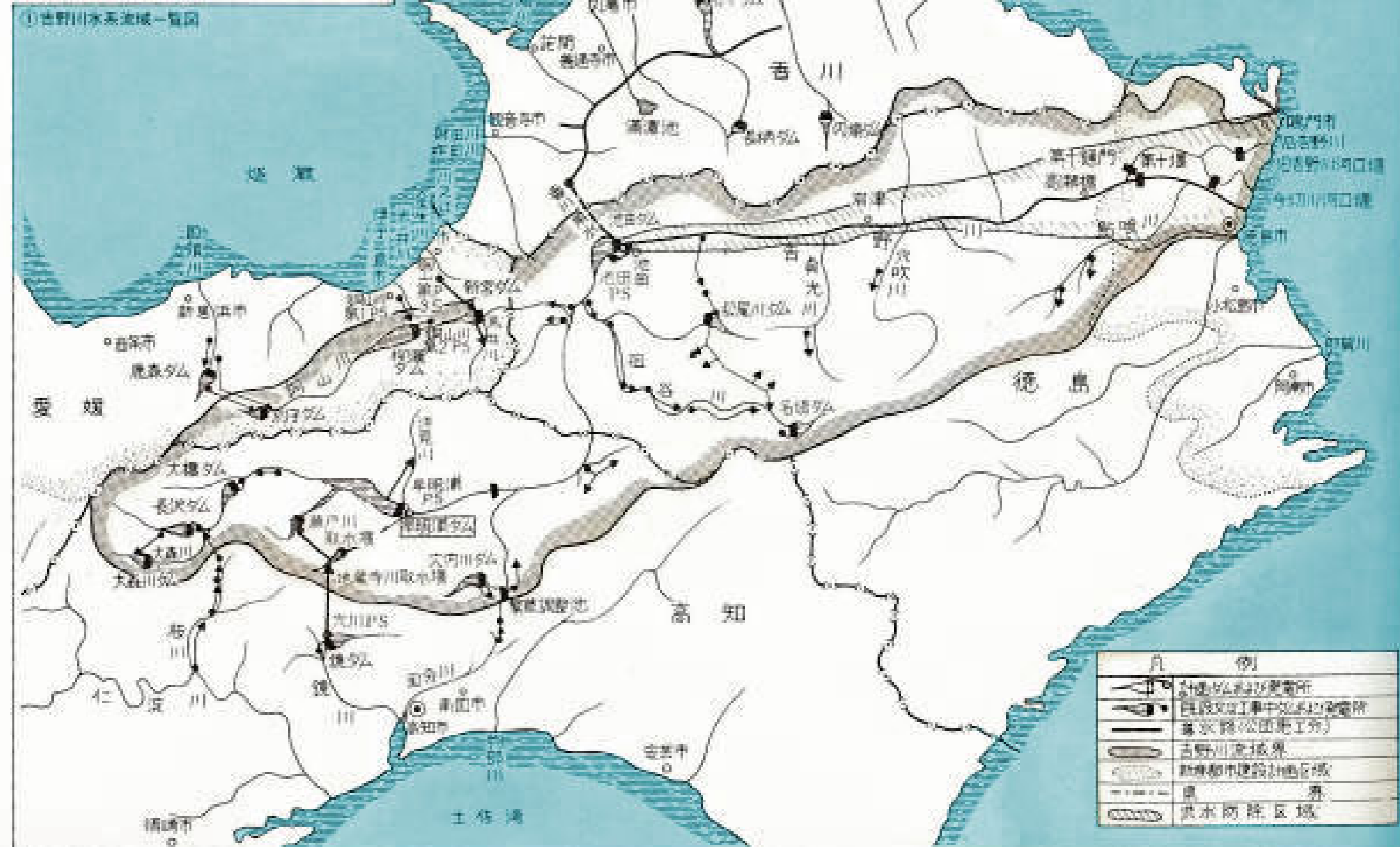
スケールの大きさと豊かな水量を誇る四国第一の河川・吉野川の上流に建設を進めてきたこのダムは、わが国屈指の貯水量をもつ多目的ダムであり、この水は四国四県をうるおすまさに「四国のいのち」ともいふべく、この事業の成果は、四国の繁栄に大きく寄与するものと確信するところであります。

こゝに竣工式の日を迎えるにあたり、ダム建設のために殉ぜられた方々のご冥福をお祈りすると、もに、この事業に絶大なるご協力を賜りました地元の方々、建設省をはじめ関係省庁、関係各県のご指導とご協力に対しまして、深く感謝の意を表する次第であります。

なお、出来上ったダムの管理にあたりましては、公団は、安全と効率を旨とし環境保全にも留意して、適切な運営を図る考えでありますので、地元の方々、各県のご当局をはじめ関係各方面の皆様方におかれましても、このダムが十分所期の

効用を全うできますよう、一層のご指導とご支援を切にお願いしてごあいさついたします。

(第二代柴田達夫総裁のあいさつから)

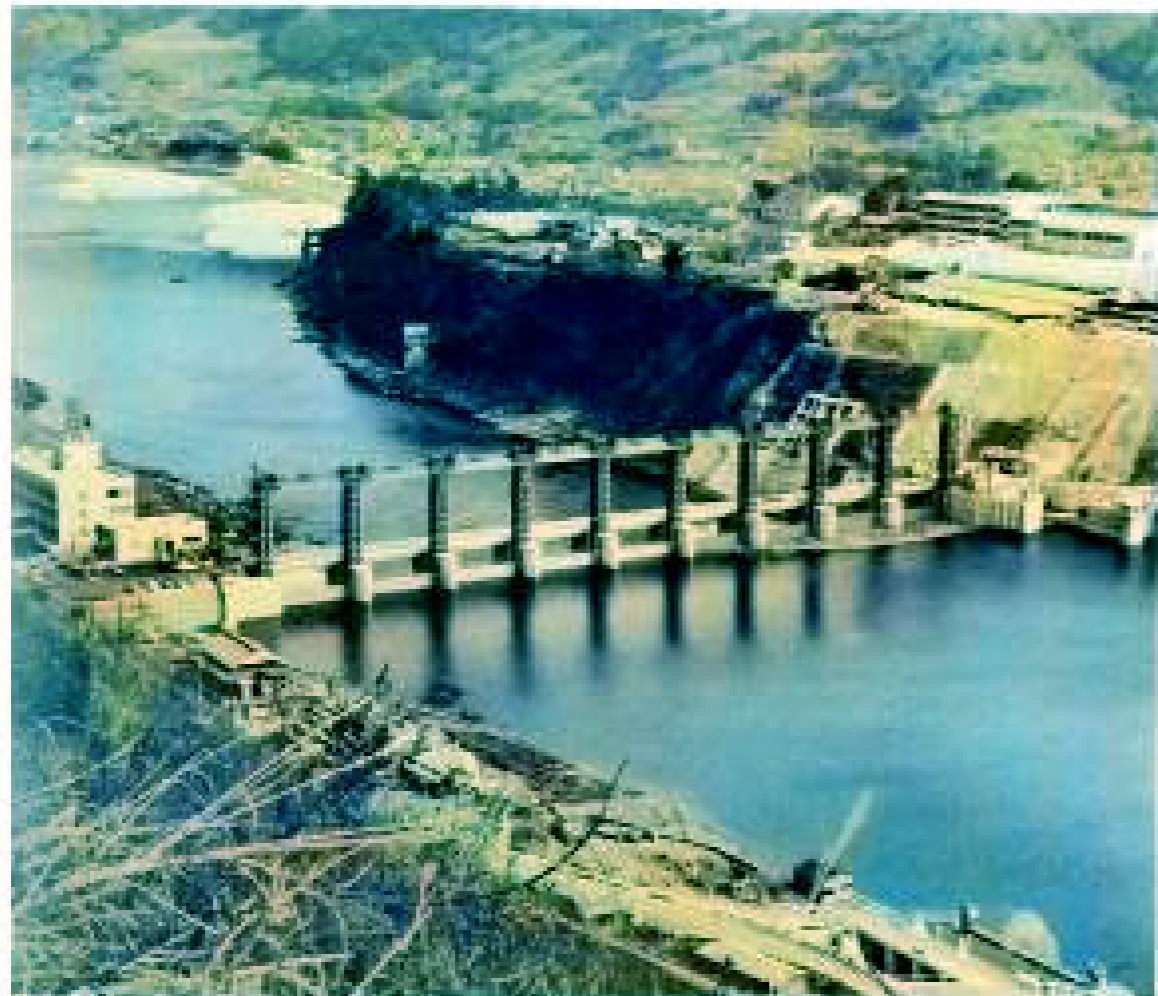




⑥



⑦



⑧



⑩

- ① 四国知事の廻手
- ② 記念碑(四国のみのも)
- ③ 香川用水
- ④ 新宮ダム
- ⑤ 早瀬ダム
- ⑥ 池田ダム
- ⑦ 田高野川河口堰
- ⑧ 高知分水



①

- ① 田園
- ② 工場
- ③ ④ 家庭水
- ⑤ ダム放水



③



②



④



●早明浦ダム

完成に要した期間＝12年

総事業費＝約300億円

総貯水容量＝3億1600万 m^3

洪水を防ぐための調節流量＝毎秒2700 m^3

このダムから徳島・香川・愛媛県に送られる農業用水＝毎秒11.96 m^3

このダムから四国4県に送られる工業用水＝毎秒16.18 m^3

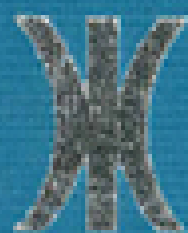
このダムから四国4県に送られる水道用水＝毎秒5.23 m^3

このダムによって生まれる電力＝最大出力4万2000kW

SAMEURA

1975

早明浦ダム写真集



水資源開発公団

早明浦ダム建設所